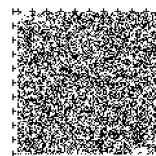
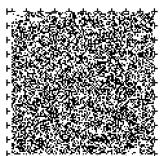


第 5 章

資料編





1 地域診断

地域の状況に関するデータでは、地域的な特性を把握するために、地域健康課の管轄に基づき大田区内を4つの地域に分けました。対象地域の内訳は次のとおりです。

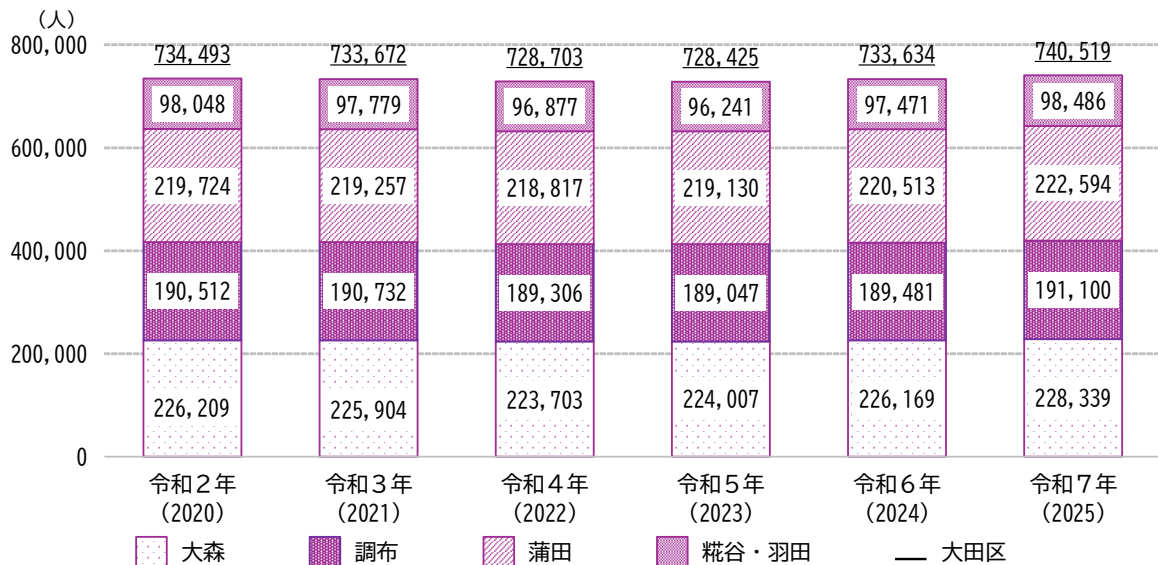
地域	特別出張所
大森地域	大森西、入新井、馬込、池上、新井宿
調布地域	嶺町、田園調布、鶉の木、久が原、雪谷、千束
蒲田地域	六郷、矢口、蒲田西、蒲田東
糀谷・羽田地域	大森東、糀谷、羽田

※地域健康課の管轄との整合性を図るため、大森東特別出張所管内は糀谷・羽田地域としています。

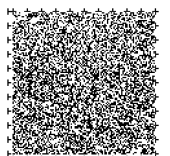
統計データからみる地域の状況

(1) 地域別人口

地域別人口では、いずれの年も大森地域が最も多く、次いで蒲田地域となっており、どちらも20万人以上となっています。また、いずれの地域においても人口は増加傾向にあり、令和7年は直近6年間で最も人口が多くなっています。

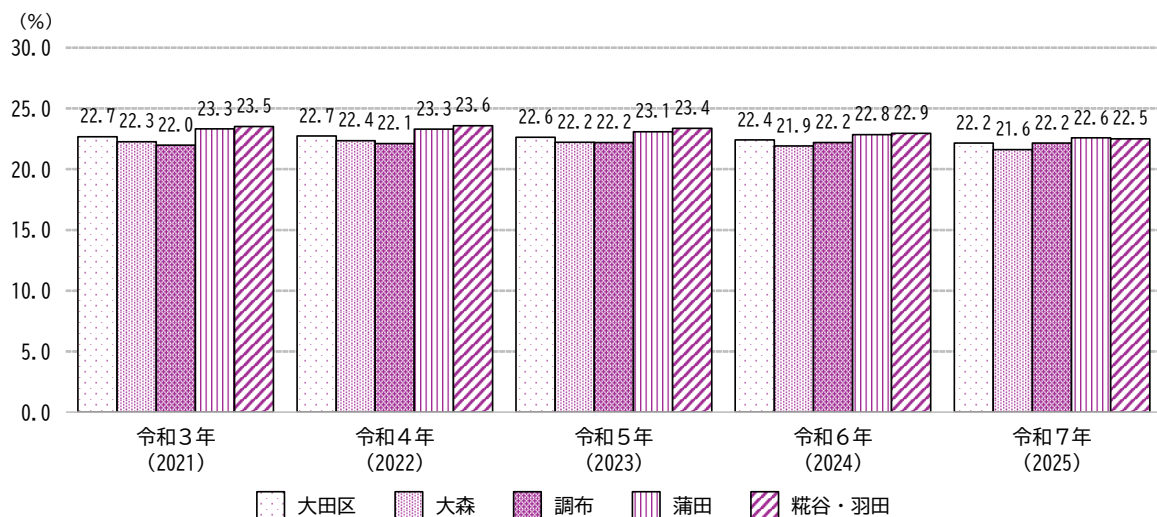


出典：大田区住民基本台帳（大田区、各年1月1日現在）

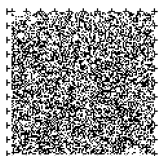


(2) 地域別高齢化率

大田区全体と比べて、いずれの年も蒲田地域と糎谷・羽田地域の高齢化率が高くなっています。また、令和3年と令和7年を比べると、調布地域を除くすべての地域で高齢化率が低くなっています。



出典：令和6年以前 保健衛生事業資料集（大田区、各年1月1日時点）
令和7年 大田区住民基本台帳（大田区、各年1月1日時点）



健康に関するアンケート調査からみる地域の状況

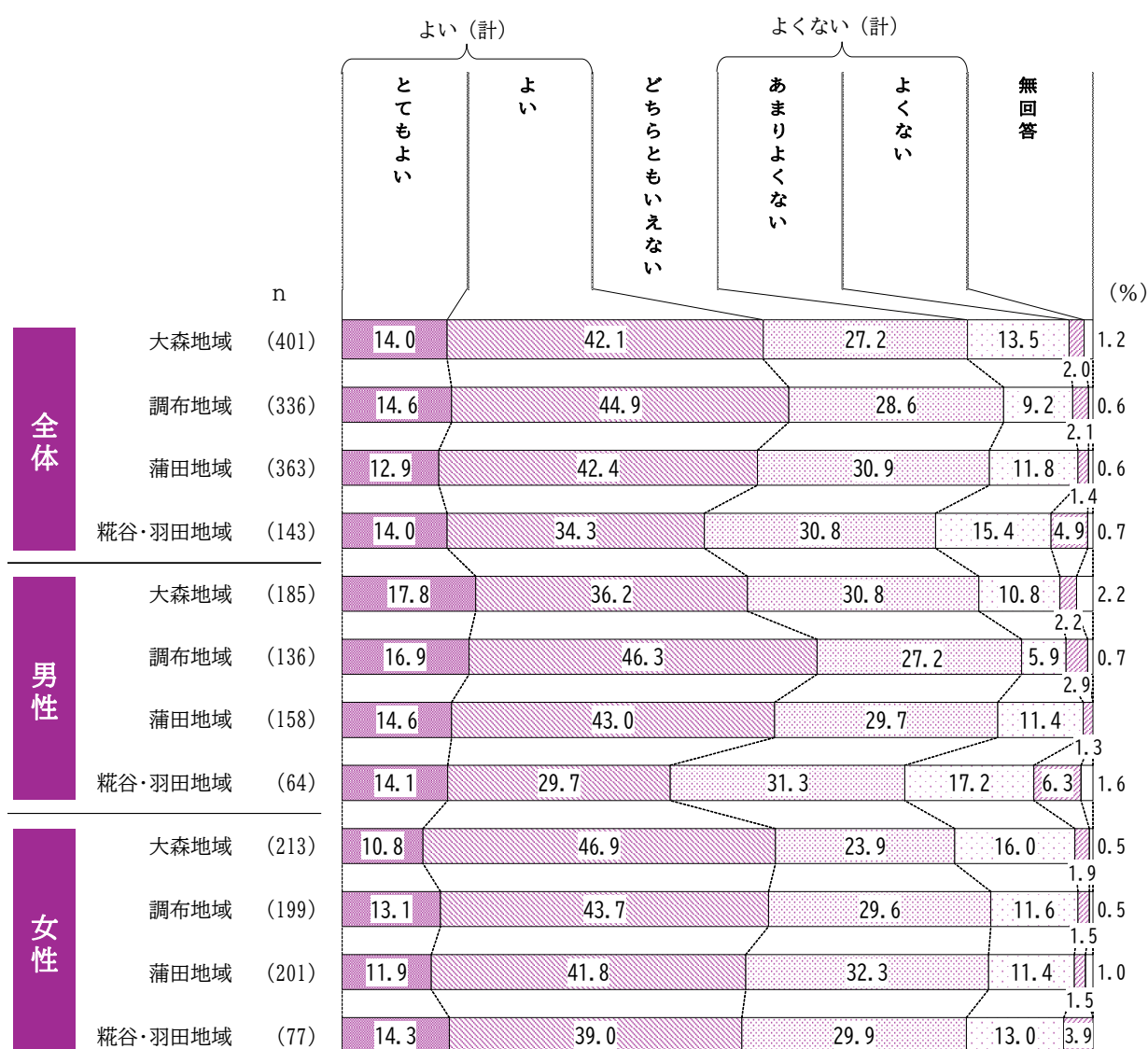
(1) 主観的健康感

【区民】

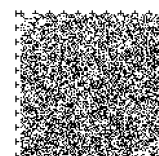
健康状態について全体では、「よい(計)」(「とてもよい」と「よい」の合計)は調布地域で59.5%と最も高く、糀谷・羽田地域で48.3%と最も低くなっています。

男性では、「よい(計)」は調布地域で63.2%と最も高く、大森地域、蒲田地域でも5割台を占めている一方で、糀谷・羽田地域では43.8%と他の地域に比べて低くなっています。

女性では、いずれの地域も「よい(計)」が5割以上を占めていますが、「よくない(計)」(「あまりよくない」と「よくない」の合計)が大森地域(17.9%)と糀谷・羽田地域(16.9%)で他の地域よりも上回っています。

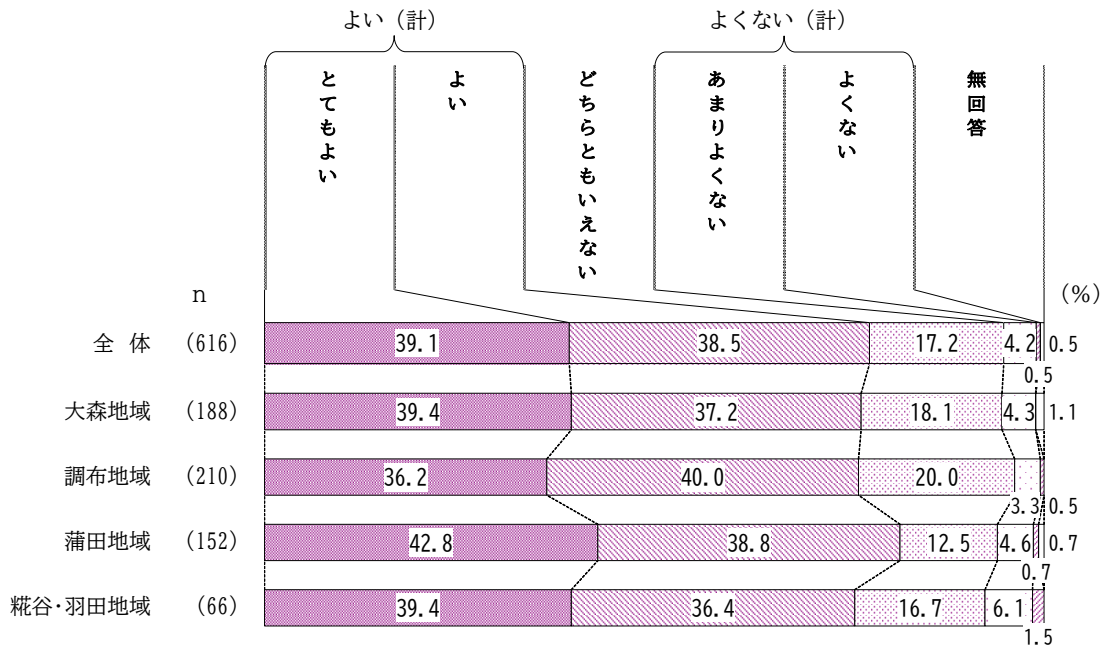


出典：健康に関するアンケート（大田区、令和6年度）

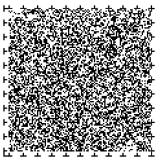


【小学6年生】

健康状態について小学6年生全体では、《よい（計）》（「とてもよい」と「よい」の合計）はいずれの地域でも7割台半ば以上を占めており、蒲田地域で81.6%と最も高くなっています。



出典：健康に関するアンケート（小学6年生）（大田区、令和6年度）

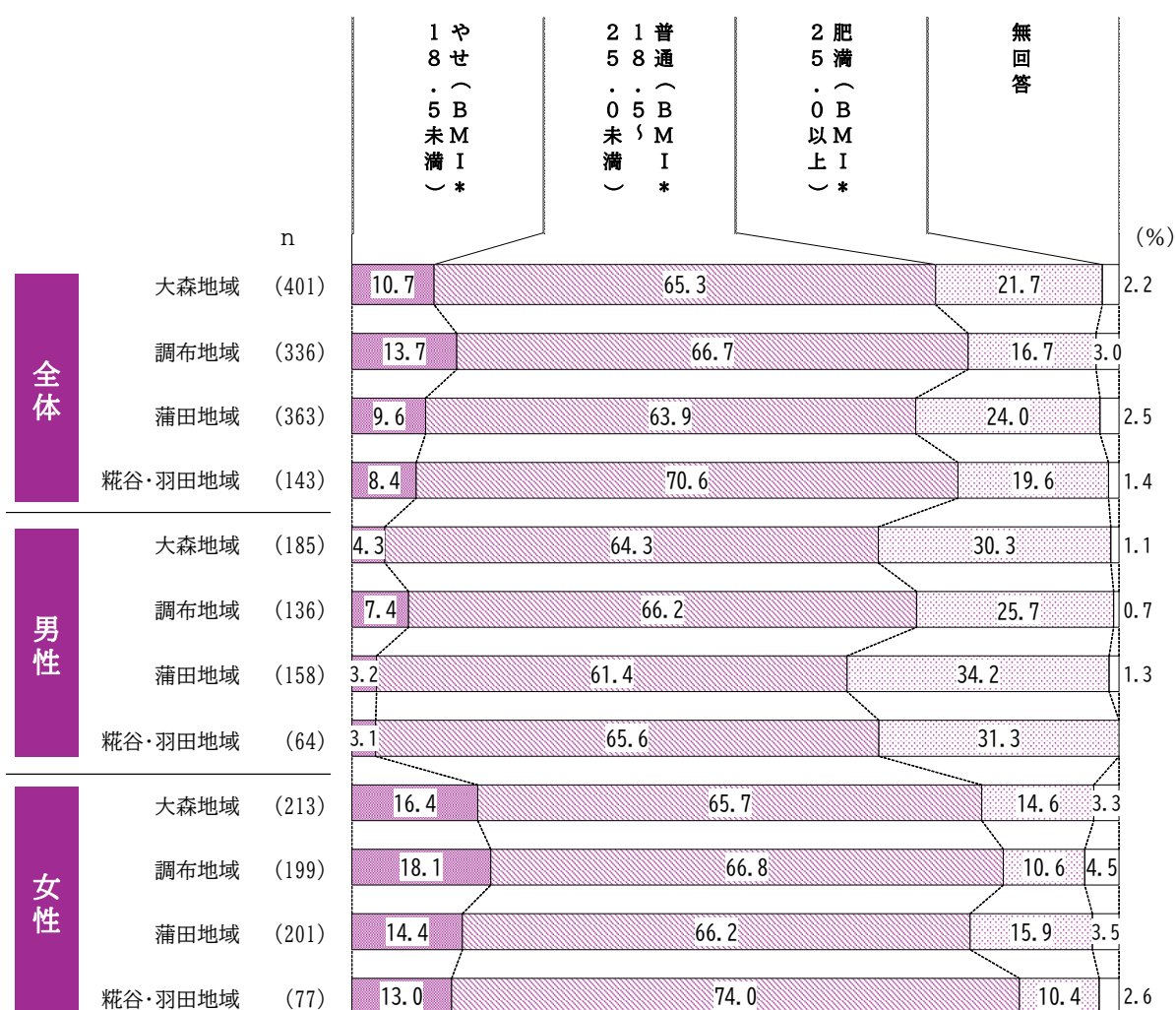


(2) やせ・肥満の状況

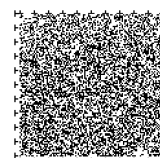
【区民】

「やせ」の状況について全体では、調布地域で 13.7%と他の地域に比べて高くなっています。性別で見ると、調布地域で男性が 7.4%、女性が 18.1%と男女ともに他の地域に比べて高くなっています。

「肥満」の状況について全体では、蒲田地域で 24.0%と最も高くなっています。性別で見ると、男性では調布地域を除く地域で3割以上を占めており、蒲田地域で 34.2%と最も高くなっています。女性では蒲田地域で 15.9%、大森地域で 14.6%と他の地域に比べて高くなっています。



出典：健康に関するアンケート（大田区、令和6年度）

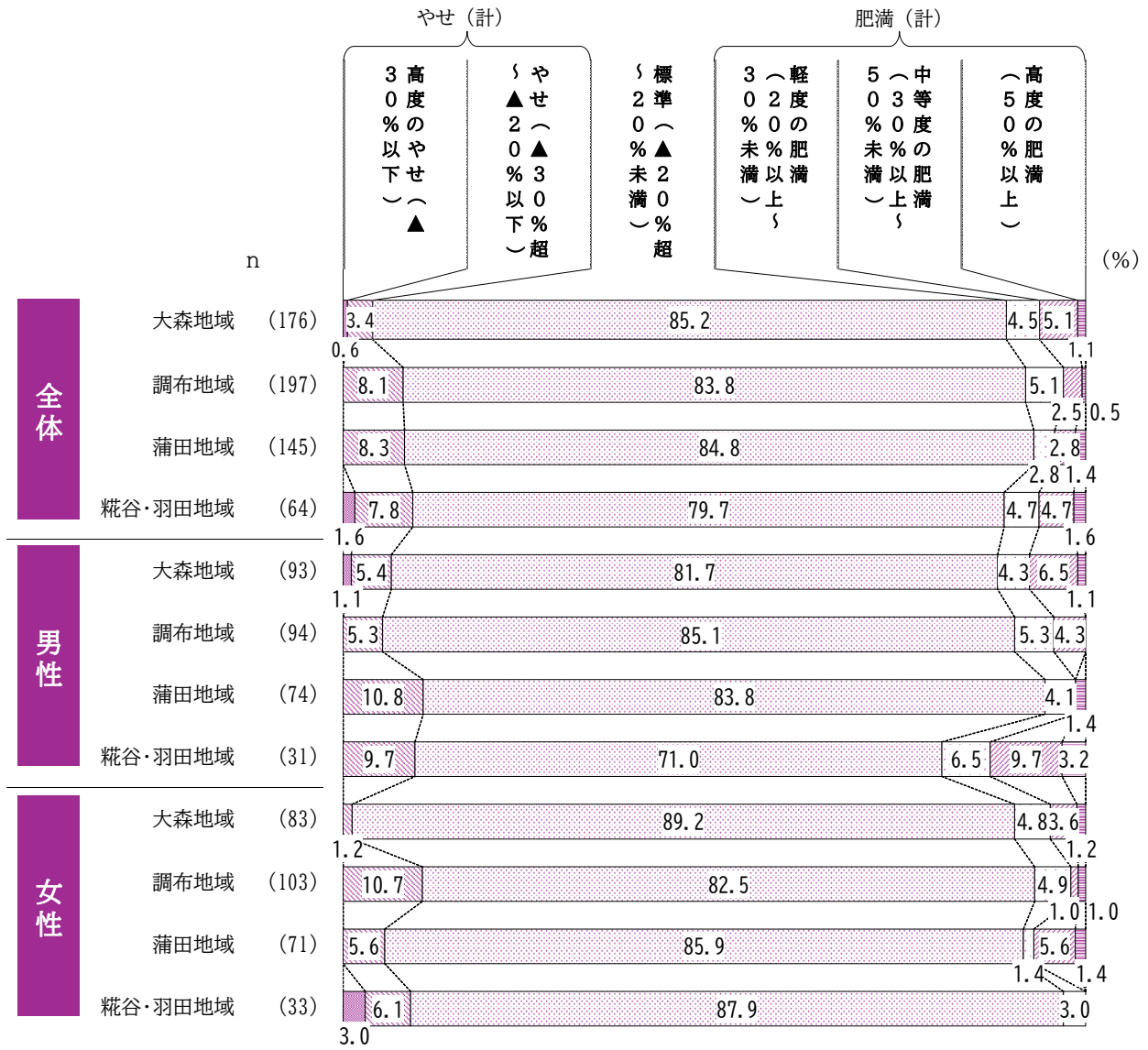


【小学6年生】

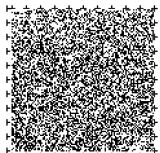
「標準」について全体では、大森地域（85.2%）、蒲田地域（84.8%）、調布地域（83.8%）が8割台となっています。

《やせ（計）》（「高度のやせ」と「やせ」の合計）について全体では、大森地域で4.0%と他の地域に比べて低くなっています。男性では、蒲田地域（10.8%）、糀谷・羽田地域（9.7%）で1割程度を占めています。女性では、調布地域（10.7%）、糀谷・羽田地域（9.1%）で1割程度を占めており、他の地域に比べて高くなっています。

《肥満（計）》（「軽度の肥満」と「中等度の肥満」、「高度の肥満」の合計）について全体では、糀谷・羽田地域で11.0%と最も高く、蒲田地域で7.0%と最も低くなっています。男性では、糀谷・羽田地域で19.4%と最も高くなっており、次いで大森地域で11.9%となっています。女性では、いずれの地域も一桁に留まっていますが、大森地域で9.6%と最も高くなっています。



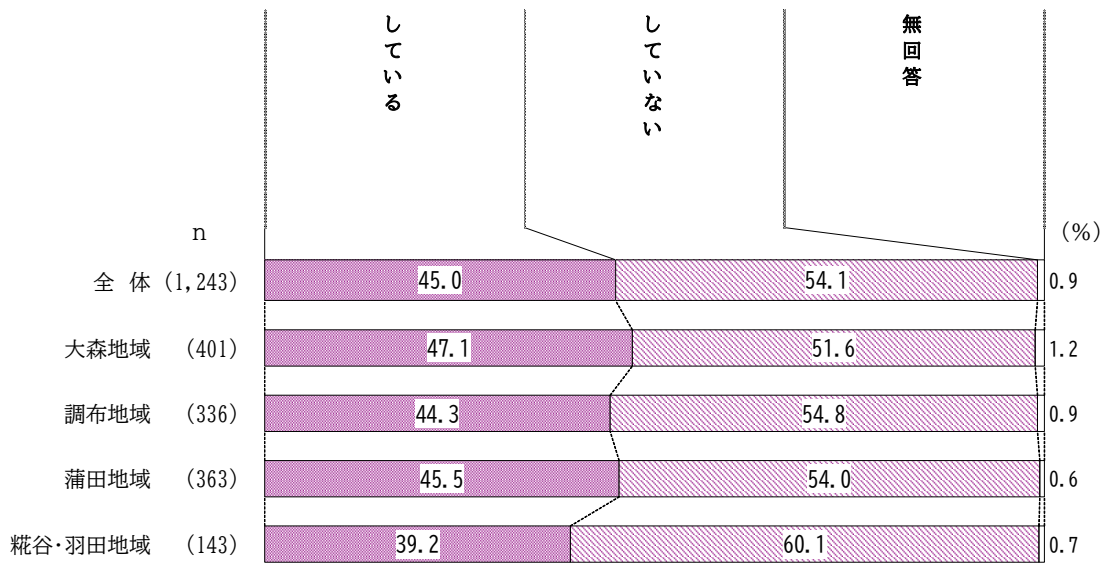
出典：健康に関するアンケート（小学6年生）（大田区、令和6年度）



(3) 運動の状況

【区民】

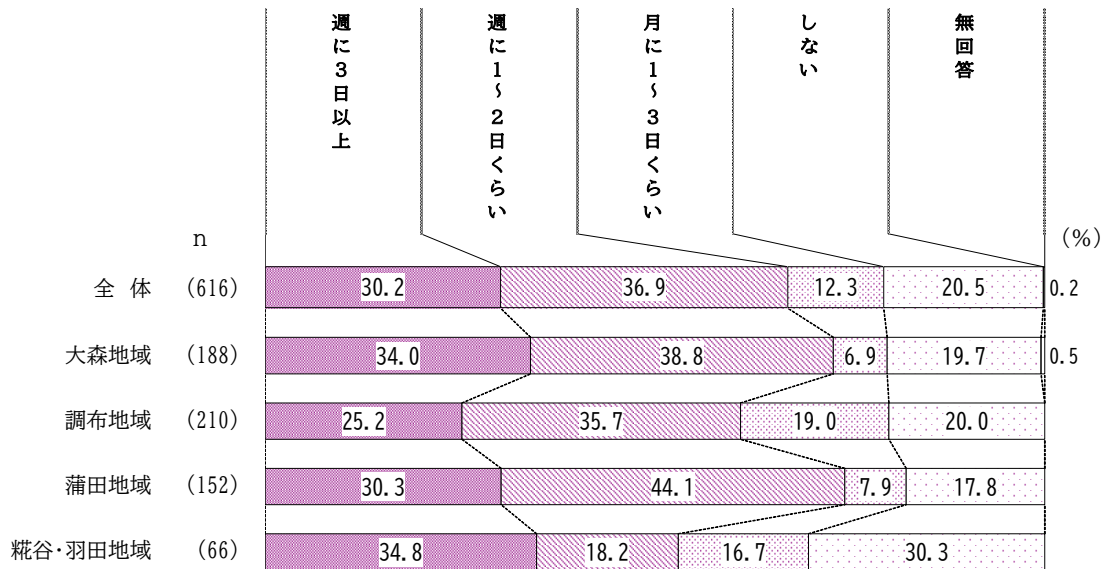
1日30分以上の軽く汗をかく運動を週2回以上「している」と回答した人の割合は、大森地域で47.1%と最も高く、糀谷・羽田地域で39.2%と最も低くなっています。



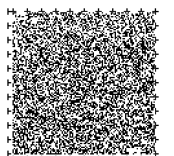
出典：健康に関するアンケート（大田区、令和6年度）

【小学6年生】

学校の体育の授業を除いた運動やスポーツの状況について、「週に3日以上」が糀谷・羽田地域で34.8%と最も高く、調布地域で25.2%と最も低くなっています。一方、「しない」は糀谷・羽田地域で30.3%と最も高くなっています。



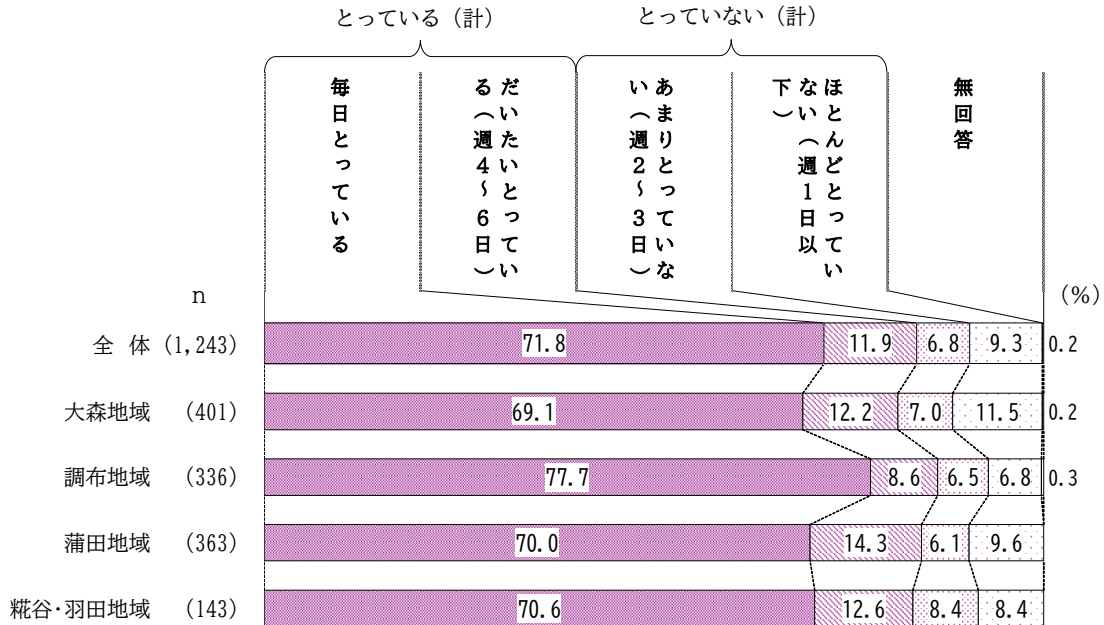
出典：健康に関するアンケート（小学6年生）（大田区、令和6年度）



(4) 朝食の摂取状況

【区民】

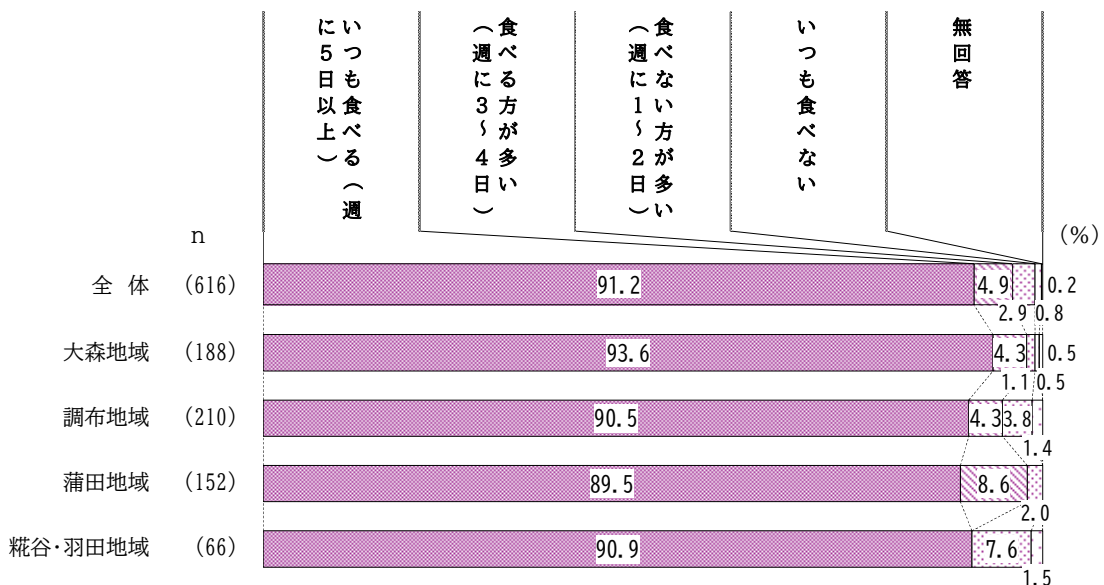
朝食について、「毎日とっている」が調布地域で77.7%と最も高く、大森地域で69.1%と最も低くなっています。また、「とっている（計）」（「毎日とっている」と「だいたいとっている（週4～6日）」の合計）はいずれの地域でも8割を超えています。



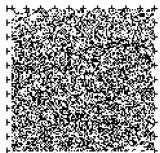
出典：健康に関するアンケート（大田区、令和6年度）

【小学6年生】

朝食について、「いつも食べる（週に5日以上）」が大森地域で93.6%と最も高くなっています。一方、「食べる方が多い（週に3～4日）」が蒲田地域で8.6%、「食べない方が多い（週に1～2日）」が糞谷・羽田地域で7.6%と他の地域に比べて高くなっています。



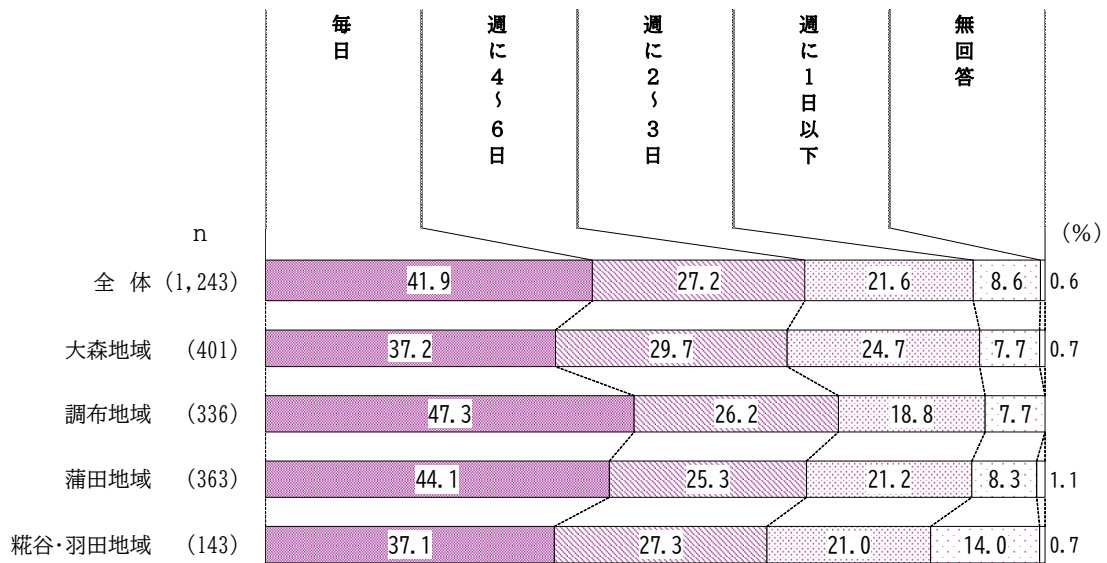
出典：健康に関するアンケート（小学6年生）（大田区、令和6年度）



(5) 主食、主菜、副菜をそろえた食事の回数

【区民】

主食、主菜、副菜をそろえた食事の回数について、「毎日」が調布地域で47.3%と最も高く、大森地域で37.2%、糀谷・羽田地域で37.1%と低くなっています。

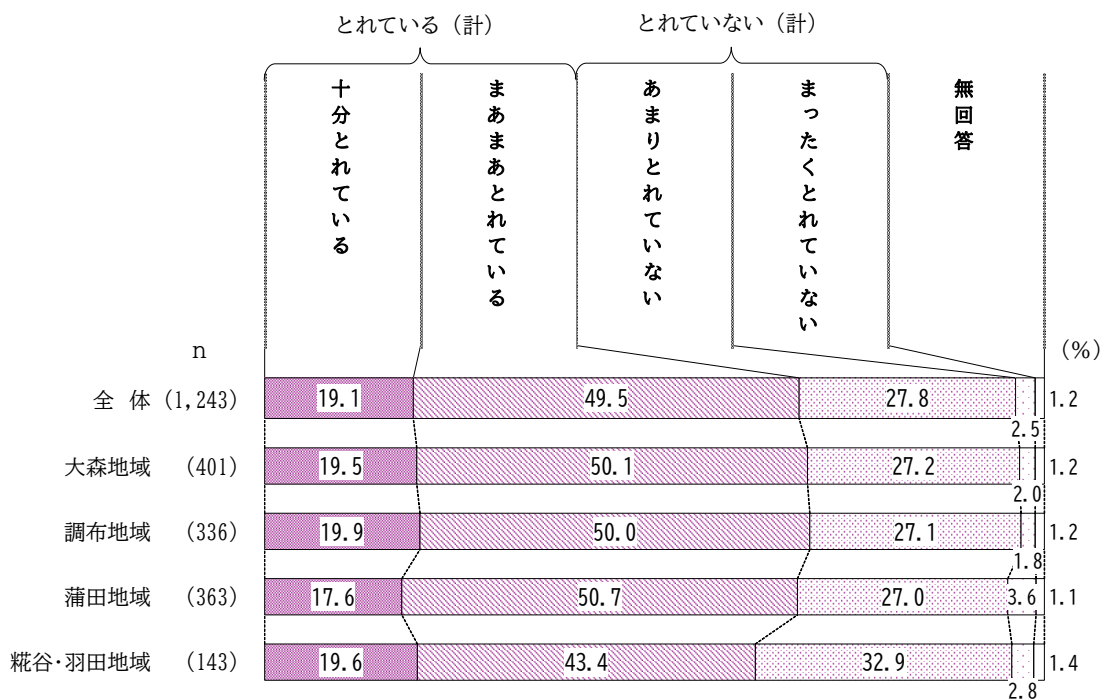


出典：健康に関するアンケート（大田区、令和6年度）

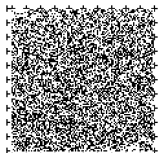
(6) 睡眠による休養の状況

【区民】

睡眠による休養の状況について、大森地域、調布地域、蒲田地域では「とれている（計）」（「十分とれている」と「まあまあとれている」の合計）が約7割を占めていますが、糀谷・羽田地域では63.0%と他の地域に比べて低くなっています。



出典：健康に関するアンケート（大田区、令和6年度）

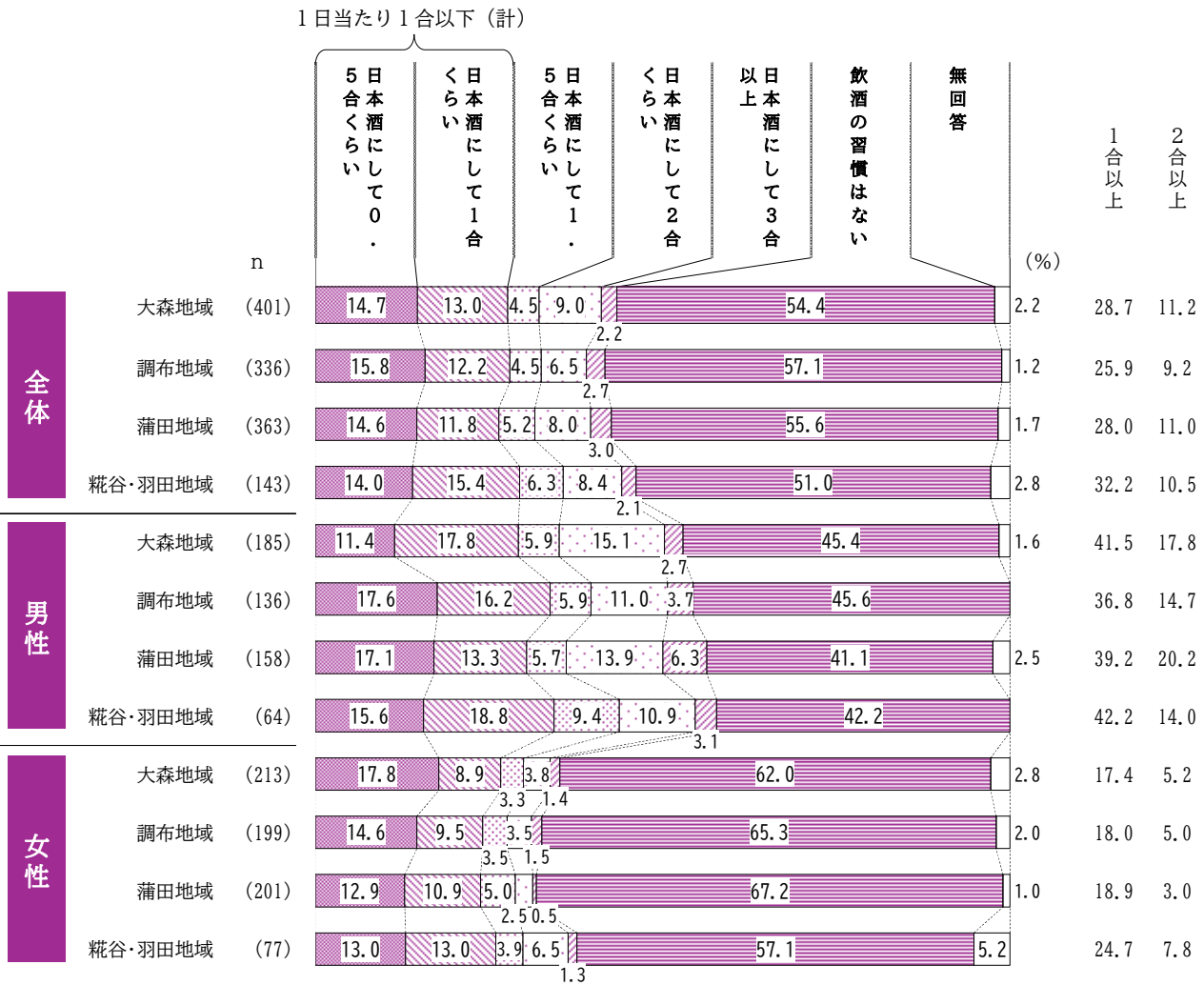


(7) 生活習慣病のリスクを高める量の飲酒をしている割合

【区民】

生活習慣病のリスクを高める量の飲酒をしている割合について、男性（日本酒にして2合以上）では、蒲田地域で20.2%と最も高くなっています。

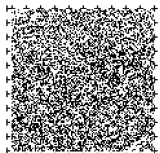
女性（日本酒にして1合以上）では、糀谷・羽田地域で24.7%と他の地域に比べて高くなっています。また、「飲酒の習慣はない」はいずれの地域でも過半数を占めており、糀谷・羽田地域を除く3地域では6割以上となっています。



※＜日本酒1合（180ml）と同じ量＞

- ・ビール及び発泡酒：中瓶・缶（500ml）1本、缶（350ml）1.4本
- ・焼酎：0.5合 ・ワイン：2杯（240ml） ・ウイスキー：ダブル1杯

出典：健康に関するアンケート（大田区、令和6年度）



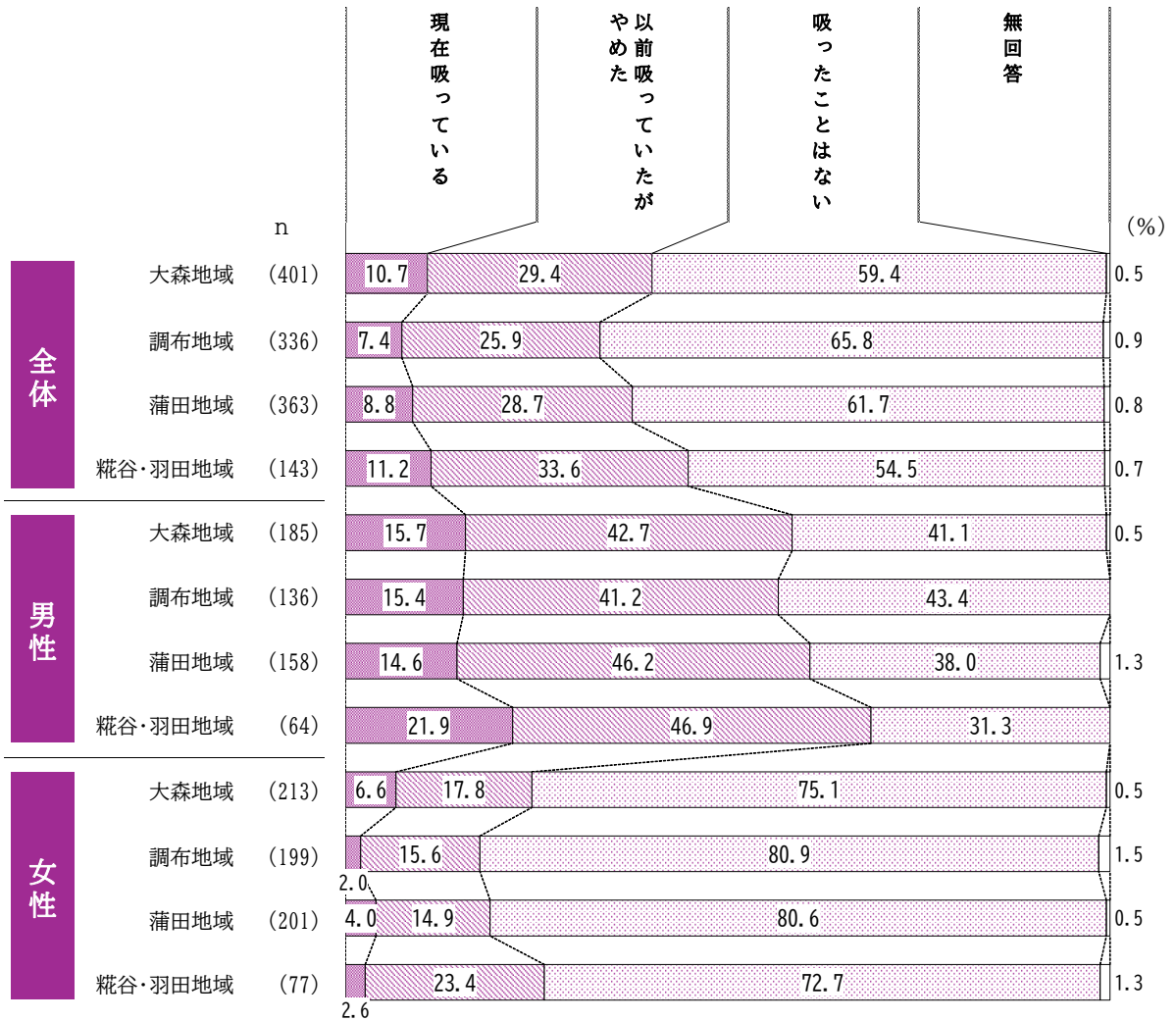
(8) 喫煙状況

【区民】

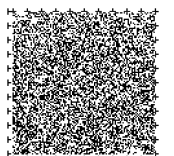
喫煙状況について全体では、「現在吸っている」が大森地域で 10.7%、糀谷・羽田地域で 11.2%と 1 割以上を占めています。

男性では、「現在吸っている」が大森地域、調布地域、蒲田地域ではいずれも 1 割台半ばとなっている一方、糀谷・羽田地域では 21.9%と他の地域に比べて高くなっています。

女性では、いずれの地域も一桁に留まっていますが、大森地域で 6.6%と他の地域に比べて高くなっています。

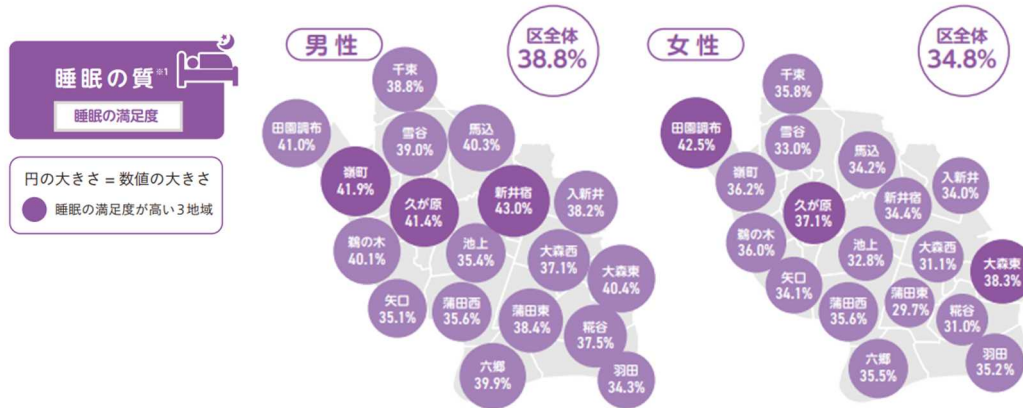


出典：健康に関するアンケート（大田区、令和6年度）



地区の特徴に応じた健康づくりの推進

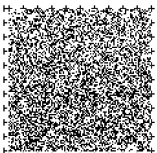
大田区では、令和2年度から令和6年度までの5年間、区内18地区の健康の特徴や課題を把握する「人生100年を見据えた健康寿命延伸プロジェクト」を東邦大学との共同研究で実施しました。その中でいずれの地区においても強みや課題があることが見えてきました。



※1 「大田区キラリ☆健康調査 2023」（令和5年に20歳～89歳の区民36,000人を対象に実施）の有効回答数14,059人分の結果より

地区ごとに健康課題や生活環境には様々な違いがあります。そのため、一人ひとりが無理なく取り組める健康づくりには、地区の特性に応じた工夫が欠かせません。地区の課題や資源を把握し、区民や行政、関係団体が連携して取り組むことで、区全体としての健康づくりとともに、区民が身近に感じる地区の特徴に応じた健康づくりも推進していくことが重要です。

区では、小学校、企業等への健康啓発の中で、健康への興味や関心をもってもらう健康づくりにつなげていくため、地区の健康の特徴を伝えています。これらの取組を継続して実施し、区民の健康づくりのきっかけをつくっていきます。

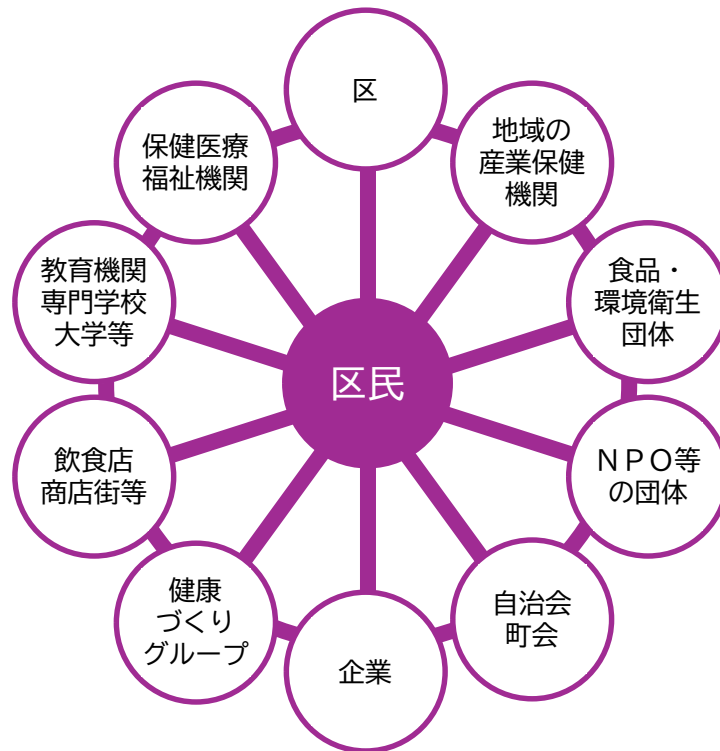


2 推進体制

1 区役所外部との連携について

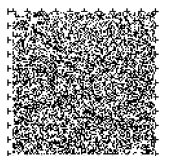
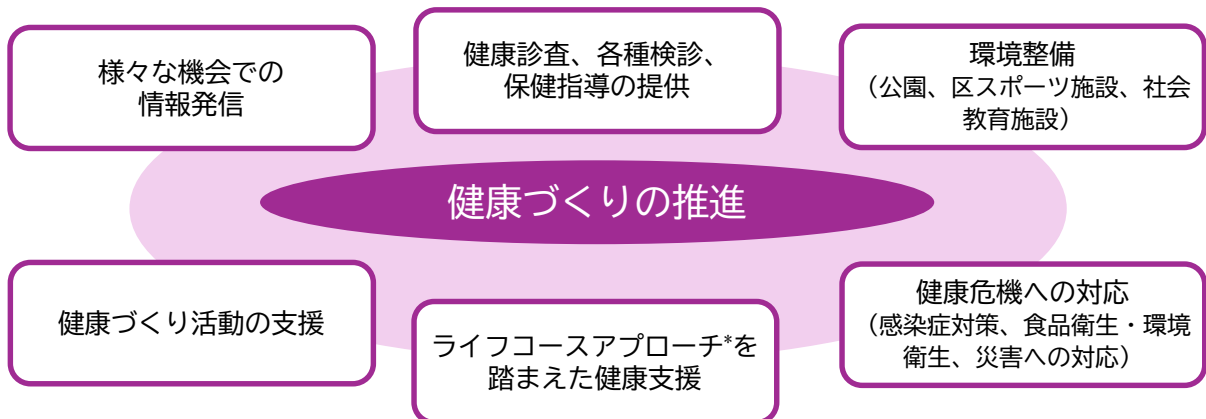
区役所内部だけでなく、区内にある多様な地域の担い手に参加を促すことで、プランを着実に推進し、区民の健康づくりを推進・支援します。そのため、区内の保健医療福祉機関をはじめとして、各種団体と連携します。

区民の健康づくりへの動機付けと意識を高めるため、また、地域力を発揮し区民が主体的に健康づくりに取り組むための受け皿として、自治会・町会や区民による活動団体と積極的に連携します。同時に、区民による活動の組織化を支援します。



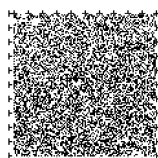
2 区内部の連携について

プランを効率的かつ効果的に推進し、区内部の連携を強化して、一丸となってプラン推進に取り組めます。



3 「おおた健康プラン」推進会議委員名簿

	氏名	選出区分	所属	備考
会長	西脇 祐司	学識経験者	東邦大学	
副会長	瀬川 貴	保健医療	田園調布医師会	
委員	佐藤 充宏	保健医療	蒲田歯科医師会	令和5年7月まで
	内田 秀彰	保健医療	蒲田歯科医師会	令和5年7月から
	田中 敏郎	保健医療	大田区薬剤師会	
	五十嵐 千代	保健医療	東京工科大学	
	山崎 大治	保健衛生	佐伯栄養専門学校	
	指田 健二郎	保健衛生	大田区食品衛生協会	
	横田 忠幸	保健衛生	大田区環境衛生協会	
	村 明子	保健衛生	東京自殺防止センター	
	三木 伸良	地域	大田区自治会連合会	令和7年7月まで
	中島 晋	地域	大田区自治会連合会	令和7年7月から
	塚越 学	地域	大田区母子保健推進協議会	
	桑田 健秀	運動	NPO法人地域総合スポーツ倶楽部 ピボットフット	
	中田 正次	区民	大田健康づくりネットワーク登録団体(蒲田健康ウォーキング)	
	牧野 二三代	区民	公募	
	菅 明男	区民	公募	令和6年7月まで
	上森 雅世	区民	公募	令和6年7月から
	馬場 宏二郎	産業	東京商工会議所大田支部	令和6年10月まで
中井 宏好	産業	東京商工会議所大田支部	令和6年10月から	



4 「おおた健康プラン」推進会議設置要綱

平成 23 年 7 月 13 日

23 保健発第 10519 号

改正 平成 24 年 1 月 30 日 23 保健発第 11425 号

平成 25 年 4 月 10 日 25 保健発第 10054 号

平成 25 年 6 月 10 日 25 保健発第 10485 号

平成 26 年 4 月 18 日 26 保健発第 10103 号

平成 27 年 4 月 20 日 27 健づ発第 10122 号

平成 29 年 3 月 13 日 28 健づ発第 11347 号

平成 31 年 3 月 18 日 30 健健発第 12244 号

(設置)

第 1 条 大田区における健康施策全般の行動計画である「おおた健康プラン（以下「プラン」という。）」の効果的かつ着実な推進をめざし、おおた健康プラン推進会議（以下「推進会議」という。）を設置する。

(所掌事項)

第 2 条 推進会議は、次に掲げる事項について検討する。

- (1) プランの推進状況に関すること。
- (2) 事業の評価に関すること。
- (3) 事業の見直しに関すること。
- (4) 次期プランの検討に関すること。
- (5) その他健康づくり施策に関すること。

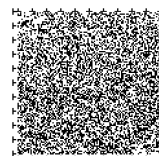
(委員の構成及び委嘱)

第 3 条 推進会議は次に掲げる区分のうちから、区長が委嘱する委員 16 人以内で構成する。

- (1) 学識経験
- (2) 保健医療
- (3) 保健衛生
- (4) 地域
- (5) 運動
- (6) 区民
- (7) 産業

2 前項第 6 号に規定する委員のうち 2 人は、原則として公募委員とする。

3 委員を辞職しようとするときは、理由を添えて区長に申し出なければならない。



(委員の任期)

第4条 委員の任期は、委嘱の日から現行のプランの計画期間の末日までとする。ただし、辞職した委員の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長)

第5条 推進会議に会長を置き、委員の互選によりこれを定める。

- 2 会長は、推進会議を代表し、会務を総理する。
- 3 会長に事故があるときは、あらかじめ会長が指名する副会長がその職務を代理する。

(会議)

第6条 推進会議は、会長が招集する。

- 2 会長は、必要と認める場合は、委員以外の者に出席を求めることができる。

(会議の公開)

第7条 推進会議は、原則として公開とする。ただし、次の各号のいずれかに該当する場合には、会長は、会議の全部又は一部を非公開とすることができる。

- (1) 公開することにより、公正かつ中立な審議に著しい支障を及ぼすおそれがあると認められる場合
- (2) 特定の者に不当な利益又は不利益をもたらすおそれがあると認められる場合
- (3) 議案に個人情報が含まれている場合

(報償費)

第8条 委員に対する報償費は、別に定める。

(処務)

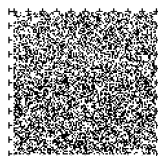
第9条 推進会議の処務は、健康医療政策課において処理する。

(委任)

第10条 この要綱に定めるもののほか、推進会議の運営に関し必要な事項は、健康政策部長が別に定める。

付 則 この要綱は、決定の日から施行する。

付 則 この要綱は、決定の日から施行する。



付 則（平成 25 年 6 月 10 日 25 保健発第 10485 号）

この要綱は、決定の日から施行する。

付 則（平成 26 年 4 月 18 日 26 保健発第 10103 号）

この要綱は、決定の日から施行する。

付 則（平成 27 年 4 月 20 日 27 健づ発第 10122 号）

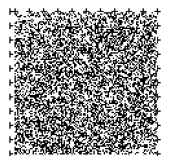
この要綱は、決定の日から施行する。

付 則（平成 29 年 3 月 13 日 28 健づ発第 11347 号）

この要綱は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

付 則（平成 31 年 3 月 18 日 30 健健発第 12244 号）

この要綱は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。



3 策定経過

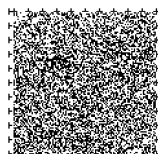
1 おおた健康プラン推進会議及び庁内検討会の開催実績

(1) 推進会議

回数	開催日	主な議事内容
第1回	令和7年 7月25日(金)	(1) 健康に関するアンケート調査結果 (2) おおた健康プラン(第三次)実績報告 (3) おおた健康プラン(第四次)概要案 (4) おおた健康プラン(第四次)に向けた策定検討シート
第2回	令和7年 11月7日(金)	(1) おおた健康プラン(第四次)概要案について (2) おおた健康プラン(第四次)素案について
第3回	令和8年 2月2日(月)	(1) パブリックコメント及び区民説明会の実施結果について (2) おおた健康プラン(第四次)策定スケジュールについて (3) 令和8年度以降の方針案について

(2) 庁内検討会

回数	開催日	主な議事内容
第1回	令和7年 7月25日(金)	(1) 健康に関するアンケート調査結果 (2) おおた健康プラン(第三次)実績報告 (3) おおた健康プラン(第四次)概要案 (4) おおた健康プラン(第四次)に向けた策定検討シート
第2回	令和7年 10月27日(月)	(1) おおた健康プラン(第四次)概要案について (2) おおた健康プラン(第四次)「施策目標」「数値指標」「重点事業」について
第3回	令和8年 2月2日(月)	(1) パブリックコメント及び区民説明会の実施結果について (2) おおた健康プラン(第四次)策定スケジュールについて (3) 令和8年度以降の方針案について

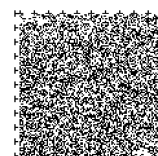


2 区民説明会の開催実績

開催日	会場
令和7年12月11日(木) 18時30分から	大田区役所

3 パブリックコメントの実施結果

募集期間	令和7年12月3日(水) から令和7年12月23日(火)
意見提出件数	パブリックコメント 28件



4 アンケート概要

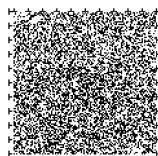
本調査は、区民の健康に関する意識や習慣等を把握し、平成31年3月に策定した「おおた健康プラン（第三次）」の評価及び次期計画策定のための基礎資料とすることを目的として、令和6年度に実施しました。

■概要

	健康に関するアンケート	健康に関するアンケート (小学6年生)
調査期間	令和6年9月11日から9月30日	令和6年9月20日から10月18日
調査対象	大田区在住の18歳以上の男女 (大田区住民基本台帳からの層化無 作為抽出)	大田区在住の小学6年生 (大田区住民基本台帳からの層化無 作為抽出)
調査方法	郵送配布 - 郵送・インターネット 併用回収 ※電子申請(東京共同電子申請・届出 サービス)を使用	郵送配布 - 郵送回収
標本数	4,000人	1,300人
有効回収数	1,243人	616人
有効回収率	31.1%	47.4%
調査項目	1 あなた自身について 2 健康診査・検診について 3 食生活について 4 健康づくりについて 5 妊娠・出産について 6 こころの健康について 7 自殺対策について 8 アルコール・たばこについて 9 歯の健康について 10 感染症対策について 11 地域医療について 12 生活衛生対策について 13 自由記述	1 あなた自身について 2 日頃の生活について 3 こころの健康について 4 食生活について 5 歯の健康について

調査結果の詳細は区ホームページから確認できます。

https://www.city.ota.tokyo.jp/kuseijoho/ota_plan/kobetsu_plan/hoken_eisei/sukoyakaota/kenkoanke-to_r6.html



5 第三次プラン数値目標評価

第三次プランでは総合指標のほか、3つの基本目標に基づく施策と数値目標を設定し、施策や基本目標の達成に向けて様々な取組を進めてきました。

第三次プランにおける数値目標の達成状況は、以下のとおりです。

※達成状況は、「◎：目標達成」「○：改善（策定時の現状値を上回る）」「△：変化なし（策定時の現状値と同じ）」「▼：低下（策定時の現状値を下回る、または未達）」となっています。

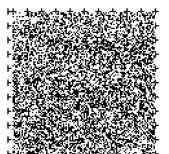
総合指標 65歳健康寿命の延伸

指標項目		プラン策定時 (平成28年度)	目標値 (令和6年度)	現状値 (令和5年度)	達成状況
男性	要支援1以上	80.67歳	延伸 (65歳平均余命* の延伸分を上回る 65歳健康寿命*の 延伸)	81.11歳	◎
	要介護2以上	82.22歳		82.35歳	◎
女性	要支援1以上	82.30歳		83.29歳	◎
	要介護2以上	85.36歳		85.74歳	◎

基本目標1 生涯を通じた健康づくりを推進します

◆施策1 身体活動・運動

指標項目	プラン策定時 (平成29年度)	目標値 (令和6年度)	現状値 (令和6年度)	達成状況
1日30分以上の軽く汗をかく運動を週2回以上している区民	34.2%	44.0%	45.0%	◎
この1年間に自主的な活動に参加したことのある区民	51.1%	55.0%	42.2%	▼
大田区健康ポイント利用者数	-	50,000人 (令和7年度)	46,313人 (令和6年度)	▼

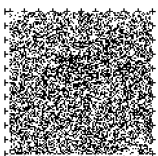


◆施策2 喫煙・飲酒

指標項目	プラン策定時 (平成 29 年度)	目標値 (令和 6 年度)	現状値 (令和 6 年度)	達成 状況
たばこを吸っている区民	16.1%	12.0%	9.3%	◎
妊婦の喫煙率	1.7%	0.0%	0.7%	○
受動喫煙*を経験した者の割合	路上 : 71.7% (平成 30 年度)	減少	43.8%	◎
	飲食店 : 65.8% (平成 30 年度)	減少	27.8%	◎
生活習慣病のリスクを高める 量を超えた飲酒している区民	男性 : 20.6%	減少	男性 : 17.4%	◎
	女性 : 17.0%	減少	女性 : 18.8%	▼

◆施策3 がん対策

指標項目	プラン策定時 (平成 29 年度)	目標値 (令和 6 年度)	現状値 (令和 6 年度)	達成 状況
75 歳未満のがん死亡率* (年齢調整*)(人口 10 万対)	男性 : 100.4 (平成 28 年度)	減少 (令和 5 年度)	74.5 (令和 5 年度)	◎
	女性 : 67.3 (平成 28 年度)	減少 (令和 5 年度)	55.3 (令和 5 年度)	◎
胃がん検診受診率	32.1%	50.0%	25.4%	▼
大腸がん検診受診率	33.6%	50.0%	24.9%	▼
肺がん検診受診率	27.1%	50.0%	17.9%	▼
子宮がん検診受診率	45.4%	50.0%	23.2%	▼
乳がん検診受診率	40.8%	50.0%	21.2%	▼
要精密検査者の受診率平均値 (区 5 がん)	89.7% (平成 27 年度)	92.0% (令和 5 年度)	88.7% (令和 5 年度)	▼
がんになっても地域で安心して 暮らしていけると思う人の割合	40.9%	増加	40.2%	▼



指標項目	プラン策定時 (平成 29 年度)	目標値 (令和 6 年度)	現状値 (令和 6 年度)	達成 状況
大田区が行っているがん検診の 認知度	44.1% ※外国人の実績値	増加	83.7% ※区民の実績値	-

※「大田区が行っているがん検診の認知度」は第三次プラン策定時に実施したアンケート調査では外国人を対象としていましたが、令和6年度に実施した健康に関するアンケートでは外国人を含む区民を対象として実施したため、対象が異なります。

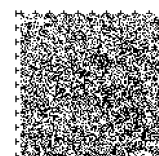
◆施策4 糖尿病・循環器疾患など生活習慣病の予防

指標項目	プラン策定時 (平成 29 年度)	目標値 (令和 6 年度)	現状値 (令和 6 年度)	達成 状況
男性の肥満（40 歳代、50 歳代）	40 歳代：32.1%	減少	40 歳代：35.2%	▼
	50 歳代：34.6%	減少	50 歳代：37.8%	▼
大田区国民健康保険特定健康 診査受診率の向上	36.9%	43.0% (令和 5 年度)	38.8%	○
大田区国民健康保険特定保健 指導実施率の向上	11.0%	19.0% (令和 5 年度)	9.9%	▼
健康経営*認定事業所数	-	150 (令和 7 年度)	251 (令和 7 年度)	◎

◆施策5 歯と口腔の健康

指標項目	プラン策定時 (平成 29 年度)	目標値 (令和 6 年度)	現状値 (令和 6 年度)	達成 状況
3 歳児のむし歯のない子どもの 割合	88.8%	増加	94.8%	◎
12 歳児の一人平均むし歯数	0.88 本	0.70 本	0.44 本	◎
進行した歯周病にかかっている 人の割合	40 歳：63.1%	減少	43.1%	◎
	50 歳：66.2%	減少	44.7%	◎
	60 歳：71.1%	減少	46.1%	◎
咀嚼良好者の割合（60 歳代）	62.5%	70.0%	65.3%	○
口腔ケアが誤えん性肺炎を予防 することを知っている区民の割 合	31.4%	増加	82.5%※	-

※「口腔ケアが誤えん性肺炎を予防することを知っている区民の割合」は第三次プラン策定時に実施したアンケート調査では全回答者を対象としていましたが、令和6年度に実施した健康に関するアンケートでは「オーラルフレイルを知っている人」を対象として実施したため、対象が異なります。



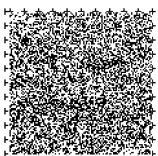
◆施策6 親と子の健康づくり「大田区母子保健計画」

指標項目	プラン策定時 (平成 29 年度)	目標値 (令和 6 年度)	現状値 (令和 6 年度)	達成 状況
妊婦面接実施率	72.3%	90.0%	94.9%	◎
すこやか赤ちゃん訪問実施率	96.0%	100.0%	93.2%	▼
妊娠 22 週以降妊娠届出割合	0.85%	減少	0.56%	◎
妊婦の喫煙率	1.7%	0.0%	0.7%	○
育てにくさを感じた時相談先を知っているなど解決する方法を知っている親の割合	1.6 歳児:79.7%	増加	79.6%	▼
	3 歳児:83.9%	増加	82.6%	▼
午後 10 時までに就寝する子どもの割合	1.6 歳児:80.5%	増加	89.1%	◎
	3 歳児:68.6%	増加	72.0%	◎
朝食を欠食する中学生の割合	6.6% ※中学生の実績	減少	3.7% ※小学 6 年生の実績	-
きずなメール (メール・LINE) の登録数	1,743 件 (平成 30 年 10 月 末現在)	12,000 件	14,463 件	◎

※「朝食を欠食する人の割合 (中学生)」、「食を大切に思う中学生の割合」は第三次プラン策定時に実施したアンケート調査では区内在住の中学生を対象としていましたが、令和 6 年度に実施した健康に関するアンケート (小学 6 年生) では区内在住の小学 6 年生を対象として実施したため、対象が異なります。

◆施策7 食育の推進「大田区食育推進計画」

指標項目	プラン策定時 (平成 29 年度)	目標値 (令和 6 年度)	現状値 (令和 6 年度)	達成 状況
朝食を欠食する人の割合 (20 歳以上、中学生)	20 歳以上:7.5%	減少	9.3%	▼
	中学生:6.6%	減少	3.7% ※小学 6 年生の実績	-
男性の肥満の割合	30 歳代:19.8%	減少	27.1%	▼
	40 歳代:32.1%	減少	35.2%	▼
適正体重*を維持している 20 歳代女性の割合	77.7%	増加	68.1%	▼
高齢者のやせの割合 (80 歳以上)	13.7%	減少	11.4%	◎

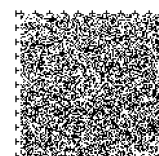


指標項目	プラン策定時 (平成 29 年度)	目標値 (令和 6 年度)	現状値 (令和 6 年度)	達成 状況
食を大切に思う中学生の割合	90.0%	増加	92.5% ※小学 6 年生の実績	-
健康メニュー協力店数	25 店舗	58 店舗	64 店舗	◎

※「朝食を欠食する人の割合（中学生）」、「食を大切に思う中学生の割合」は第三次プラン策定時に実施したアンケート調査では区内在住の中学生を対象としていましたが、令和 6 年度に実施した健康に関するアンケート（小学 6 年生）では区内在住の小学 6 年生を対象として実施したため、対象が異なります。

◆施策 8 こころの健康づくりと自殺対策の推進「大田区自殺対策計画」

指標項目	プラン策定時 (平成 29 年度)	目標値 (令和 6 年度)	現状値 (令和 6 年度)	達成 状況
自殺死亡率* ※自殺死亡率*は人口 10 万対	15.0 (平成 27 年)	11.0 以下 (令和 6 年)	12.0	○
自殺死亡者数	106 人	77 人以下	88 人	○
ストレスを感じている人の中で、何らかの方法でストレスを解消している人の割合	89.0%	増加	92.4%	◎
ゲートキーパー*基礎講座修了数 (累積)	基本型:817 人	1,800 人	1,736 人	○
	出前型:0 人	1,400 人	2,772 人	◎
20 歳未満の自殺死亡率* ※自殺死亡率*は人口 10 万対	2.8 (平成 27 年)	2.0 以下 (令和 6 年)	3.0	▼
80 歳以上の自殺死亡率* ※自殺死亡率*は人口 10 万対	22.9 (平成 27 年)	16.7 以下 (令和 6 年)	17.2	○



基本目標2 健康に関する安全と安心を確保します

◆施策1 感染症対策の強化

指標項目	プラン策定時 (平成 29 年度)	目標値 (令和 6 年度)	現状値 (令和 6 年度)	達成 状況
結核り患率(人口 10 万対)	17.8 (平成 29 年)	14.3 (令和 4 年)	8.2 (令和 4 年)	◎
結核についての正しい知識を持っている区民の割合(2 週間以上続く咳、痰、息苦しさなどの症状があること)	68.2%	70.0%	47.7%	▼
H I V の保健所での無料検査の認知度	46.4%	50.0%	40.5%	▼
予防接種率の向上 (MR ワクチン)	1 期 93.6%	97.0%	95.7%	○
	2 期 90.3%	97.0%	89.0%	▼

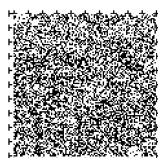
◆施策2 災害時医療体制の整備

指標項目	プラン策定時 (平成 29 年度)	目標値 (令和 6 年度)	現状値 (令和 6 年度)	達成 状況
緊急医療救護所について知っている区民の割合	日本人:16.2%	60.0%	11.7% ※区民の実績値	-
	外国人:11.9%	30.0%		
災害時看護職ボランティアの登録数	21 名	50 名	37 名	○

※「緊急医療救護所について知っている区民の割合」は第三次プラン策定時に実施したアンケート調査では日本人及び外国人を対象としていましたが、令和 6 年度に実施した健康に関するアンケートでは外国人を含む区民を対象として実施したため、対象が異なります。

◆施策3 安全な生活環境の確保

指標項目	プラン策定時 (平成 29 年度)	目標値 (令和 6 年度)	現状値 (令和 6 年度)	達成 状況
保健所メールの登録数	1,425 件	2,800 件 (令和 7 年度)	2,785 件	○
肉の生食に注意している人の割合	59.0%	75.0%	72.6%	○
ねずみの対策指導が有効と感じた人の割合	68.0%	75.0% (令和 7 年度)	91.2%	◎



基本目標3 医療や特別な支援を必要とする人が安心して暮らせるまちをつくります

◆施策1 地域医療体制の充実

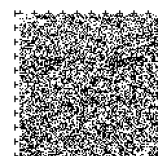
指標項目	プラン策定時 (平成29年度)	目標値 (令和6年度)	現状値 (令和6年度)	達成状況
在宅医療の制度や仕組みについて知っている区民の割合	-	30.0%	18.1%	▼
かかりつけ医がいる区民の割合	62.5%	65.0%	66.3% [※]	-
かかりつけ歯科医がいる区民の割合	67.5%	70.0%	57.5% [※]	-
かかりつけ薬局がある区民の割合	48.3%	52.0%	41.9% [※]	-

※「かかりつけ医がいる区民の割合」、「かかりつけ歯科医がいる区民の割合」、「かかりつけ薬局がある区民の割合」は、第三次プラン策定時は健康に関するアンケート（大田区、平成29年度）を出典としていましたが、現状値は区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査（大田区、令和6年度）を出典としているため、出典が異なります。

◆施策2 精神障がい者、難病患者、ひきこもりの方への支援

指標項目	プラン策定時 (平成29年度)	目標値 (令和6年度)	現状値 (令和6年度)	達成状況
精神疾患で1年以上入院している区民 [※]	465人	減少	385人	◎

※大田区に元住所のある患者の、全国の精神科病院への入院数



6 数値目標一覧

総合指標

指標項目		現状値		目標値		出典
		数値	測定年度	数値	測定年度	
65歳健康寿命*	男性	要支援1以上： 81.11歳 要介護2以上： 82.35歳	令和5年	延伸※1	令和17年	東京都保健医療局
	女性	要支援1以上： 83.29歳 要介護2以上： 85.74歳	令和5年			
主観的健康感		65.5%	令和7年度	増加※2	令和18年度	区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査

※1 65歳平均余命*の延伸分を上回る65歳健康寿命*の延伸

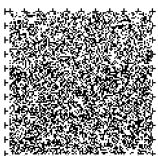
※2 自分自身の健康状態を「とてもよい」「よい」と回答した人の割合の増加

基本目標1 生涯を通じた心身の健康づくりを推進します

区分1 生活習慣の改善

◆施策1 栄養・食生活【大田区食育推進計画】

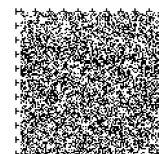
指標項目		現状値		目標値		出典
		数値	測定年度	数値	測定年度	
朝食を欠食する人の割合 (18歳以上)		9.3%	令和6年度	減少	令和12年度	健康に関するアンケート
主食・主菜・副菜を組み合わせ た食事が1日2回以上の日が ほぼ毎日の人の割合 (18歳以上)		41.9%	令和6年度	増加	令和12年度	健康に関するアンケート



指標項目	現状値		目標値		出典
	数値	測定年度	数値	測定年度	
適正体重*を維持している人の割合 ・18歳から64歳：BMI*18.5以上25未満 ・65歳以上：BMI*20を超え25未満	18歳から64歳： 66.6% 65歳以上： 52.2%	令和6年度	増加	令和12年度	健康に関するアンケート
減塩に気をつける人の割合	40.3%	令和6年度	増加	令和12年度	健康に関するアンケート
誰かと一緒に食べることを意識している人の割合	26.5%	令和6年度	増加	令和12年度	健康に関するアンケート
食品ロス削減に取り組む人の割合	97.1%	令和7年度	増加	令和12年度	区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査

◆施策2 身体活動・運動

指標項目	現状値		目標値		出典
	数値	測定年度	数値	測定年度	
1日30分以上の軽く汗をかく運動を週2回以上している人の割合	45.0%	令和6年度	50.0%	令和12年度	健康に関するアンケート
1日の平均歩数 ・20歳から64歳：8,000歩以上の人の割合 ・65歳以上：6,000歩以上の人の割合	20歳から64歳： 19.1% 65歳以上： 18.2%	令和6年度	32.0%	令和12年度	健康に関するアンケート



◆施策3 休養・睡眠

指標項目	現状値		目標値		出典
	数値	測定年度	数値	測定年度	
・18歳から59歳：睡眠時間が6時間から9時間とれている人の割合 ・60歳以上：睡眠時間が6時間から8時間とれている人の割合	18歳から59歳： 58.3% 60歳以上： 51.5%	令和6年度	60.0%	令和12年度	健康に関するアンケート
睡眠で休養がとれている人の割合	68.6%	令和6年度	80.0%	令和12年度	健康に関するアンケート

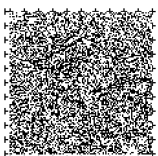
◆施策4 飲酒・喫煙

指標項目	現状値		目標値		出典
	数値	測定年度	数値	測定年度	
生活習慣病のリスクを高める量を超えた飲酒をしている人の割合	男性：17.4% 女性：18.8%	令和6年度	10.0%	令和12年度	健康に関するアンケート
たばこを吸っている人の割合	9.3%	令和6年度	減少※	令和12年度	健康に関するアンケート
受動喫煙*を経験した人の割合	路上：43.8% 飲食店：27.8%	令和6年度	減少	令和12年度	健康に関するアンケート
COPD*（慢性閉塞性肺疾患）の認知度	16.6%	令和6年度	40.0%	令和12年度	健康に関するアンケート
COPD*（慢性閉塞性肺疾患）による死亡率*（人口10万対）	男性：16.0 女性：3.0	令和6年度	減少	令和12年度	保健衛生事業資料集

※二次的目標として国、東京都の喫煙率を下回ることとします。

◆施策5 歯と口腔の健康

指標項目	現状値		目標値		出典
	数値	測定年度	数値	測定年度	
4本以上のむし歯のある人の割合（3歳児）	1.3%	令和6年度	減少	令和12年度	保健衛生事業資料集
むし歯のない人の割合（12歳児）	77.4%	令和6年度	80.0%	令和12年度	学校保健統計

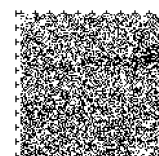


指標項目	現状値		目標値		出典
	数値	測定年度	数値	測定年度	
進行した歯周病にかかっている人の割合 (40歳から49歳)	43.1%	令和6年度	減少	令和12年度	保健衛生事業資料集
咀嚼良好者の割合 (50歳から64歳)	78.8%	令和6年度	増加	令和12年度	健康に関するアンケート
8020*を達成した人の割合	77.2%	令和6年度	増加	令和12年度	保健衛生事業資料集

区分2 主な生活習慣病の発症予防と重症化予防

◆施策1 がん

指標項目	現状値		目標値		出典
	数値	測定年度	数値	測定年度	
75歳未満のがん死亡率* (年齢調整*)(人口10万対)	男性：74.5 女性：55.3	令和5年度	減少	令和11年度	がん検診精度管理評価事業*
胃がん検診受診率	25.4%	令和6年度	増加	令和12年度	健康に関するアンケート
大腸がん検診受診率	24.9%	令和6年度	増加	令和12年度	健康に関するアンケート
肺がん検診受診率	17.9%	令和6年度	増加	令和12年度	健康に関するアンケート
子宮頸がん検診受診率	23.2%	令和6年度	増加	令和12年度	健康に関するアンケート
乳がん検診受診率	21.2%	令和6年度	増加	令和12年度	健康に関するアンケート
要精密検査者の受診率平均値 (区5がん)	88.7%	令和5年度	92.0%	令和11年度	実績
がんになっても地域で安心して暮らしていけると思う人の割合	40.2%	令和6年度	55.0%	令和12年度	健康に関するアンケート
生活習慣とがんの関連性を知っている人の割合	—	—	90.0%	令和12年度	健康に関するアンケート



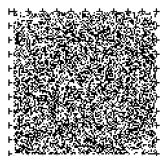
◆施策2 糖尿病・循環器病

指標項目	現状値		目標値		出典
	数値	測定年度	数値	測定年度	
男性の肥満の割合 (30歳代、40歳代、50歳代、60歳代)	30歳代：27.1% 40歳代：35.2% 50歳代：37.8% 60歳代：35.5%	令和6年度	減少	令和12年度	健康に関するアンケート
HbA1cの値が6.5以上の人の割合	8.2%	令和5年度	減少	令和12年度	KDB* (国保データベース)
高血圧者の割合	23.3%	令和5年度	減少	令和12年度	KDB* (国保データベース)
健康診断(健康診査)の受診率	78.5%	令和6年度	80.0%	令和12年度	健康に関するアンケート
大田区国民健康保険特定健康診査*受診率	38.8%	令和5年度	40.0%	令和12年度	法定報告数値
大田区国民健康保険特定保健指導*実施率	9.9%	令和5年度	20.0%	令和12年度	法定報告数値

区分3 ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり

◆施策1 こどもの健康

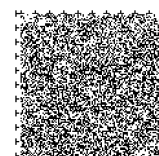
指標項目	現状値		目標値		出典
	数値	測定年度	数値	測定年度	
朝食を欠食するこどもの割合 (小学6年生)	3.7%	令和6年度	減少	令和12年度	健康に関するアンケート (小学6年生)
肥満傾向児の割合 (小学6年生)	8.9%	令和6年度	減少	令和12年度	健康に関するアンケート (小学6年生)
1日60分以上、運動やスポーツをしているこどもの割合 (小学6年生)	48.9%	令和6年度	68.0%	令和12年度	健康に関するアンケート (小学6年生)



指標項目	現状値		目標値		出典
	数値	測定年度	数値	測定年度	
1日3食、栄養バランスよく食べるようにしていることものの割合 (小学6年生)	81.7%	令和6年度	増加	令和12年度	健康に関するアンケート (小学6年生)
食べるときに、ゆっくりよく噛むようにしていることものの割合 (小学6年生)	62.5%	令和6年度	増加	令和12年度	健康に関するアンケート (小学6年生)

◆施策2 高齢者の健康

指標項目	現状値		目標値		出典
	数値	測定年度	数値	測定年度	
適正体重*(BMI*20を超え25未満)の割合 (65歳以上)	52.2%	令和6年度	増加	令和12年度	健康に関するアンケート
1年間に自主的な活動に参加したことのある人の割合 (65歳以上) (趣味、健康・スポーツ、地域行事、教育・文化、生産・就業、安全管理、福祉・保健、生活環境改善に関する活動)	45.5%	令和6年度	55.5%	令和12年度	健康に関するアンケート
何でもよく噛んで食べることができる人の割合 (65歳以上)	57.6%	令和6年度	増加	令和12年度	健康に関するアンケート

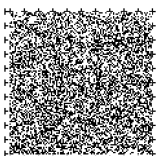


◆施策3 女性の健康

指標項目	現状値		目標値		出典
	数値	測定年度	数値	測定年度	
女性のやせ(BMI *18.5未満)の人の割合 (20歳代以下)	22.1%	令和6年度	11.0%	令和12年度	健康に関するアンケート
骨粗しょう症検診受診者数	2,806人	令和6年度	増加	令和12年度	実績
生活習慣病リスクを高める量を飲酒している女性の割合	18.8%	令和6年度	減少	令和12年度	健康に関するアンケート

区分4 親と子の健康づくり【大田区母子保健計画】

指標項目	現状値		目標値		出典
	数値	測定年度	数値	測定年度	
乳幼児健康診査の受診率	4か月児： 93.5% 1歳6か月児： 97.6% 3歳児： 98.5%	令和6年度	100%	令和10年度	実績
5歳児健康診査の実施	拡充	令和7年度	実施	令和10年度	実績
産後ケアの利用者延べ人数	3,278人	令和6年度	4,000人	令和10年度	実績
妊娠・出産・子育てについて相談できる人がいる、又は、相談先を知っている区民の割合	—	—	95.0%	令和14年度	健やか親子21アンケート(4か月健康診査時)



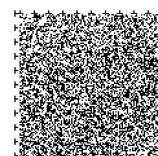
区分5 こころの健康づくりと自殺対策の推進

◆施策1 こころの健康づくり

指標項目	現状値		目標値		出典
	数値	測定年度	数値	測定年度	
ストレスを感じている人の中で、何らかの方法でストレスを解消している人の割合	92.4%	令和6年度	増加	令和12年度	健康に関するアンケート
こころの健康に関する訪問支援延べ数	2,706件	令和6年度	増加	令和12年度	保健衛生事業資料集

◆施策2 自殺対策の推進【大田区自殺対策計画】

指標項目	現状値		目標値		出典
	数値	測定年度	数値	測定年度	
自殺死亡率*（人口10万対） 自殺死亡者数	16.7 122人	5年平均 （令和2年から6年）	11.6 82人	5年平均 （令和7年から11年）	警察庁統計
こころの健康や自殺に関する相談先を知っている人の割合	70.3%	令和6年度	増加	令和12年度	健康に関するアンケート
身近な人から「死にたい」と打ち明けられた場合の正しい対処法を知っている人の割合 ①話をそらさずじっくり聞く ②相談窓口にご相談するよう勧める	①77.3% ②43.6%	令和6年度	増加	令和12年度	健康に関するアンケート
身近な人から「死にたい」と打ち明けられた場合「どうしたらよいかわからない」と回答した人の割合	6.6%	令和6年度	減少	令和12年度	健康に関するアンケート



基本目標2 健康を支えるための環境をつくります

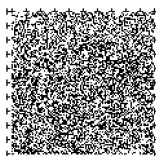
◆施策1 社会とのつながり

指標項目	現状値		目標値		出典
	数値	測定年度	数値	測定年度	
1年間に自主的な活動に参加したことがある人の割合 (趣味・健康・スポーツ、地域行事、教育・文化、生産・就業、安全管理、福祉・保健、生活環境改善に関する活動)	42.2%	令和6年度	55.0%	令和12年度	健康に関するアンケート
地域に愛着を感じている人の割合	男性：70.3%※ 女性：70.1%※	令和5年度	増加	令和12年度	健康に関するアンケート

※現状値は、「大田区キラリ☆健康調査2023」の数値を記載

◆施策2 自然に健康になれる環境づくり

指標項目	現状値		目標値		出典
	数値	測定年度	数値	測定年度	
職場や身近で健康づくりの情報が得られたり、健康づくりができる場所があると思う人の割合	—	—	30.0%	令和12年度	健康に関するアンケート
受動喫煙*を経験した人の割合	路上：43.8% 飲食店：27.8%	令和6年度	減少	令和12年度	健康に関するアンケート
公衆喫煙所整備及び運用	4か所	令和6年度	10か所	令和9年度	実績



基本目標3 健康に関する安全と安心を確保します

◆施策1 感染症対策の強化

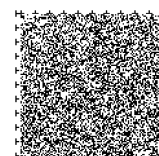
指標項目	現状値		目標値		出典
	数値	測定年度	数値	測定年度	
感染症予防対策を実践している人の割合	96.0%	令和6年度	増加	令和12年度	健康に関するアンケート
性感染症の予防方法の認知度	87.6%	令和6年度	増加	令和12年度	健康に関するアンケート
結核り患率（人口10万人対）	10.2	令和6年	6.0	令和11年	東京都における結核の概況
予防接種率（MRワクチン）	第1期 95.7% 第2期 89.0%	令和6年度	第1期 増加 第2期 95.0%	令和12年度	保健衛生事業資料集

◆施策2 災害時医療体制の整備

指標項目	現状値		目標値		出典
	数値	測定年度	数値	測定年度	
緊急医療救護所及び軽症者救護所の開設・運営訓練回数	16回	令和6年度	19回	令和10年度	実績
緊急医療救護所について機能・役割を含めて知っている区民の割合	10.6%	令和7年度	20.0%	令和10年度	区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査

◆施策3 安全な生活環境の確保

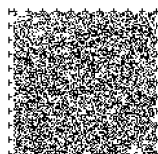
指標項目	現状値		目標値		出典
	数値	測定年度	数値	測定年度	
保健所メールの登録数	2,785	令和6年度	増加	令和12年度	保健衛生事業資料集
狂犬病予防注射接種を行った犬の割合	74.6%	令和6年度	70%以上を維持	令和12年度	保健衛生事業資料集



◆施策4 地域医療の充実

指標項目	現状値		目標値		出典
	数値	測定年度	数値	測定年度	
かかりつけ医がいる区民の割合	66.3%※	令和6年度	75.0%	令和12年度	健康に関するアンケート
かかりつけ歯科医がいる区民の割合	57.5%※	令和6年度	75.0%	令和12年度	健康に関するアンケート
かかりつけ薬局がある区民の割合	41.9%※	令和6年度	65.0%	令和12年度	健康に関するアンケート
在宅医療の制度や仕組みについて知っている人の割合	18.1%	令和6年度	30.0%	令和12年度	健康に関するアンケート

※現状値は、「区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査」の数値を記載



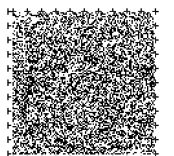
7 関連事業一覧

基本目標1 生涯を通じた心身の健康づくりを推進します

区分1 生活習慣の改善

◆施策1 栄養・食生活【大田区食育推進計画】

No.	事業名	担当課	重点事業
1	出張健康教育（栄養）	健康づくり課 地域健康課	○
2	食育フェア	健康づくり課	○
3	若者向け食育啓発	健康づくり課	○
4	保育園における食育指導	保育サービス課	○
5	児童館等における食育指導	子育て支援課	○
6	区立学校における豊かな食育	学務課	○
7	食品ロス削減への行動変容	ごみ減量推進課	○
8	出産準備教室	健康づくり課 地域健康課	
9	育児学級	地域健康課	
10	乳幼児健康診査 （4か月児、1歳6か月児、3歳児、5歳児）	健康づくり課 地域健康課	
11	栄養講習会（一般）	地域健康課	
12	栄養相談	地域健康課	
13	特定給食施設指導	健康づくり課 地域健康課	
14	朝食メニュー集の配布	健康づくり課 地域健康課	
15	外食栄養成分表示の推進・栄養成分の区民への普及	健康づくり課 地域健康課	
16	区ホームページ等における周知啓発	健康づくり課	
17	大田地域活動栄養士会による食育パネルシアター	地域健康課	



No.	事業名	担当課	重点事業
18	地域で活動する栄養士会や自主グループ等の支援・連携	健康づくり課 地域健康課	
19	保健所メールの発信	生活衛生課	
20	安全・安心な食の確保についての周知啓発	生活衛生課	

◆施策2 身体活動・運動

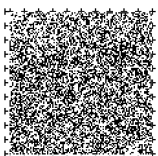
No.	事業名	担当課	重点事業
21	小学校への健康教育	健康づくり課	○
22	企業・事業所等への健康活動支援	健康づくり課	○
23	はねびょん健康ポイント事業	健康づくり課	○
24	ウォーキングイベントの開催	スポーツ推進課	○
25	区ホームページ等における周知啓発	健康づくり課	

◆施策3 休養・睡眠

No.	事業名	担当課	重点事業
26	小学校への健康教育	健康づくり課	○
27	企業・事業所等への健康活動支援	健康づくり課	○
28	区ホームページ等における周知啓発	健康づくり課	

◆施策4 飲酒・喫煙

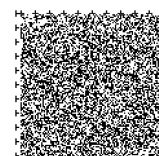
No.	事業名	担当課	重点事業
29	健康への影響と健康に配慮した飲酒の周知啓発	健康づくり課 地域健康課	○
30	企業・事業所等への健康活動支援	健康づくり課	○
31	区立学校における各種健康教育	学務課 指導課	○
32	特定健康診査*・特定保健指導*等	健康づくり課	○
33	受動喫煙*防止対策	健康づくり課	○



No.	事業名	担当課	重点事業
34	COPD*に関する周知啓発	健康づくり課	○
35	区ホームページ等における周知啓発	健康づくり課 地域健康課	
36	保健師等による相談・指導	健康づくり課 地域健康課	

◆施策5 歯と口腔の健康

No.	事業名	担当課	重点事業
37	歯と口の健康に関する普及啓発	健康づくり課 地域健康課	○
38	乳幼児歯科相談	地域健康課	○
39	歯科健康教育・相談	健康づくり課 地域健康課	○
40	企業・事業所等への健康活動支援	健康づくり課	○
41	成人歯科健康診査	健康づくり課	○
42	一般介護予防事業 (口腔機能向上講座)	地域福祉課	○
43	オーラルフレイルの周知啓発	健康づくり課 地域健康課	○
44	幼児歯科健康診査・フッ化物塗布事業	健康づくり課	
45	妊婦歯科健康診査	健康づくり課	
46	障がい者歯科相談	健康づくり課	
47	乳幼児健康診査 (4か月児、1歳6か月児、3歳児、5歳児)	健康づくり課 地域健康課	
48	育児学級	地域健康課	
49	出産準備教室	健康づくり課 地域健康課	
50	歯周病予防教室・歯周病健康相談	地域健康課	
51	歯と口の健康づくり講演会	地域健康課	



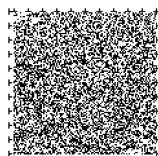
区分2 主な生活習慣病の発症予防と重症化予防

◆施策1 がん

No.	事業名	担当課	重点事業
52	がん検診の受診勧奨・周知啓発	健康づくり課 地域健康課	○
53	企業・事業所等への健康活動支援	健康づくり課	○
54	がん患者の相談支援	健康医療政策課 健康づくり課	○
55	区ホームページ等におけるがんに関する知識の周知啓発	健康づくり課	
56	胃、肺、大腸、子宮（頸）、乳、喉頭、前立腺がん検診	健康づくり課	
57	B型・C型肝炎ウイルス、眼科（緑内障）、認知機能検診、20歳のピロリ菌検査	健康づくり課	

◆施策2 糖尿病・循環器病

No.	事業名	担当課	重点事業
58	生活習慣病に関する知識の普及啓発	健康づくり課 地域健康課	○
59	小学校への健康教育	健康づくり課	○
60	企業・事業所等への健康活動支援	健康づくり課	○
61	特定健康診査*の受診率向上に関する取組	健康づくり課	○
62	特定保健指導*初回面談の早期実施	健康づくり課	○
63	生活習慣病重症化予防における医療機関受診勧奨	健康づくり課	○
64	39歳以下基本健康診査（医師会委託）	健康づくり課	
65	大田区健康診査	健康づくり課	
66	大田区国民健康保険特定健康診査*・特定保健指導*	健康づくり課	
67	長寿健康診査	健康づくり課	



区分3 ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり

◆施策1 こどもの健康

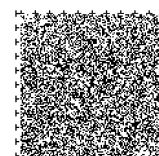
No.	事業名	担当課	重点事業
68	小学校への健康教育	健康づくり課	○
69	食育フェア	健康づくり課	○
70	小児生活習慣病予防	学務課	○
71	楽しい運動習慣*の確立	指導課	○
72	歯科健康教育・相談	健康づくり課 地域健康課	○
73	歯と口の健康に関する普及啓発	健康づくり課 地域健康課	○

◆施策2 高齢者の健康

No.	事業名	担当課	重点事業
74	一般介護予防事業	高齢福祉課 地域福祉課	○
75	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業	健康づくり課	○
76	特定健康診査*・長寿健康診査・大田区健康診査	健康づくり課	○
77	成人歯科健康診査	健康づくり課	○

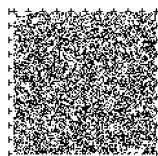
◆施策3 女性の健康

No.	事業名	担当課	重点事業
78	若い世代からの健康づくり	健康づくり課	○
79	小学校への健康教育	健康づくり課	○
80	企業・事業所等への健康活動支援	健康づくり課	○
81	骨粗しょう症対策	健康づくり課	○
82	乳幼児健康診査時等の啓発	健康づくり課 地域健康課	○
83	女性の健康支援、総合相談	健康づくり課 地域健康課	
84	子宮（頸）、乳がん検診	健康づくり課	



区分4 親と子の健康づくり【大田区母子保健計画】

No.	事業名	担当課	重点事業
85	乳幼児健康診査 (4か月児、1歳6か月児、3歳児、5歳児)	健康づくり課 地域健康課	○
86	妊婦面接	健康づくり課 地域健康課	○
87	すこやか赤ちゃん訪問事業	健康づくり課 地域健康課	○
88	産後ケア事業	健康づくり課 地域健康課	○
89	子育てに関する情報発信	健康づくり課	○
90	妊婦健康診査	健康づくり課	
91	各種乳幼児健康診査	地域健康課	
92	定期予防接種	感染症対策課 地域健康課	
93	出産準備教室	健康づくり課 地域健康課	
94	育児学級(子育てグループワークを含む)	地域健康課	
95	母子保健推進協議会	健康づくり課	
96	こども家庭センターとの連携	地域健康課	



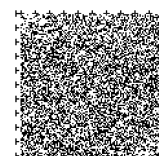
区分5 こころの健康づくりと自殺対策の推進

◆施策1 こころの健康づくり

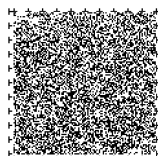
No.	事業名	担当課	重点事業
97	こころの健康づくりに関する普及啓発	健康づくり課	○
98	大田区精神障がい者アウトリーチ支援事業	健康づくり課 地域福祉課	○
99	大田区措置入院者等退院後支援事業	健康づくり課 地域福祉課	○
100	個別支援業務 (電話・面接・訪問相談)	健康づくり課 地域健康課 地域福祉課	○
101	大田区精神保健福祉地域支援推進会議	健康づくり課	○
102	家族教室(精神保健福祉講座)	地域健康課	
103	精神保健福祉相談	地域健康課	
104	依存症相談	地域健康課	
105	デイケア	地域健康課	
106	精神障害にも対応した地域包括ケアシステム*の構築	健康づくり課 障害福祉課 障がい者総合サポートセンター	

◆施策2 自殺対策の推進【大田区自殺対策計画】

No.	事業名	担当課	重点事業
107	ゲートキーパー*養成講座	健康づくり課	○
108	未遂者支援事業	健康づくり課 地域健康課 地域福祉課	○
109	生活再建・就労サポートセンター JOBOTA	蒲田生活福祉課	○
110	区立学校における自殺予防教育	指導課	○
111	大田区自殺総合対策協議会	健康づくり課	○
112	インターネット検索連動広告機能を利用した相談事業	健康づくり課	



No.	事業名	担当課	重点事業
113	区ホームページ等における周知啓発	健康づくり課	
114	図書館でのメンタルヘルス展示	健康づくり課	
115	大学等との連携によるメンタルヘルス・ゲートキーパー*講座	健康づくり課	
116	健康経営*事業所認定・表彰事業	健康医療政策課	
117	すこやか赤ちゃん訪問事業	健康づくり課 地域健康課	
118	23条通報者の情報整理と活用	健康づくり課 地域健康課 地域福祉課	



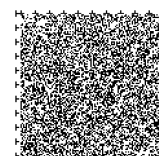
基本目標2 健康を支えるための環境をつくります

◆施策1 社会とのつながり

No.	事業名	担当課	重点事業
119	総合型地域スポーツクラブとの連携・活動支援	スポーツ推進課	○
120	ランニング大会の開催	スポーツ推進課	○
121	区民スポーツまつり	スポーツ推進課	○
122	子育てひろば	子育て支援課 子ども家庭支援センター 保育サービス課 教育総務課	○
123	区民活動支援事業	地域力推進課	○
124	デイケア	地域健康課	
125	育児学級	地域健康課	

◆施策2 自然に健康になれる環境づくり

No.	事業名	担当課	重点事業
126	健康メニュー協力店の拡充	健康づくり課 地域健康課	○
127	はねぴょん健康ポイント事業	健康づくり課	○
128	散策路の整備	都市基盤管理課 公園課	○
129	いきいき健康公園づくり	公園課	○
130	健康経営*事業所認定・表彰事業	健康医療政策課	○
131	受動喫煙*防止対策	健康づくり課	○
132	屋外における喫煙対策の推進	環境政策課	○
133	特定給食施設指導	健康づくり課 地域健康課	



基本目標3 健康に関する安全と安心を確保します

◆施策1 感染症対策の強化

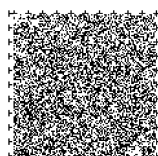
No.	事業名	担当課	重点事業
134	感染症予防に向けた普及啓発	感染症対策課	○
135	感染症予防講演会	感染症対策課	○
136	性感染症の検査及び相談体制の充実	感染症対策課	○
137	性感染症予防教育の実施	感染症対策課	○
138	結核ハイリスク対象者への健康診断の実施	感染症対策課 健康づくり課	○
139	直接服薬確認療法（DOTS）	感染症対策課	○
140	疾病予防に向けた予防接種の促進	感染症対策課	○
141	結核に関する知識の普及啓発	感染症対策課	
142	感染症発生動向調査週報	感染症対策課	
143	結核患者の医療費助成	感染症対策課	
144	結核患者の接触者に対する健康診断の実施	感染症対策課	
145	感染症発生時の対応	感染症対策課	
146	新型インフルエンザ発生時の対応	感染症対策課	
147	「新型インフルエンザ等対策行動計画」の整備・運用	感染症対策課	
148	区医師会・薬剤師会等との連携	感染症対策課	
149	予防接種に関する正しい知識の周知	感染症対策課	
150	予防接種に関する相談体制の整備	感染症対策課	

◆施策2 災害時医療体制の整備

No.	事業名	担当課	重点事業
151	緊急医療救護所の体制充実	健康医療政策課	○
152	人材育成と訓練の充実	健康医療政策課	○
153	災害時医療体制に関する普及啓発	健康医療政策課	○
154	災害時医療職ボランティアの募集	健康医療政策課	

◆施策3 安全な生活環境の確保

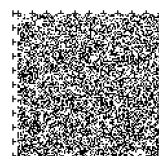
No.	事業名	担当課	重点事業
155	保健所メールの発信	生活衛生課	○
156	狂犬病の予防	生活衛生課	○



No.	事業名	担当課	重点事業
157	セルフメディケーション*支援	生活衛生課	
158	生活環境の衛生に関する助言と支援	生活衛生課	
159	感染症媒介蚊の発生抑制対策	生活衛生課	
160	日頃の食品衛生、環境衛生、医薬等の監視	生活衛生課	
161	健康危機が発生、又はその疑いがある場合における連絡体制の構築	生活衛生課	
162	安全・安心な食の確保についての周知啓発	生活衛生課	

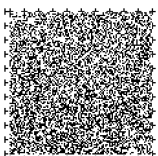
◆施策4 地域医療の充実

No.	事業名	担当課	重点事業
163	かかりつけ医等の周知啓発	健康医療政策課	○
164	在宅医療普及啓発	健康医療政策課	○
165	保健・医療・福祉の連携	健康医療政策課 健康づくり課	○
166	難病対策地域協議会	健康づくり課	○
167	看護職復職支援	健康医療政策課	○
168	休日や夜間の救急医療体制の確保	健康医療政策課	○
169	周産期医療への支援	健康医療政策課	
170	病院耐震化支援	健康医療政策課	
171	医療情報の発信	健康医療政策課	
172	地域医療連携の推進	健康医療政策課	
173	24時間AED設置補助事業	健康医療政策課	
174	東京都在宅難病患者一時入院事業	地域健康課	
175	ぜん息児日帰りキャンプ	健康医療政策課	
176	ぜん息児水泳健康教室	健康医療政策課	
177	東京都大気汚染医療費助成	健康医療政策課	
178	公害健康被害認定事務及び補償給付等	健康医療政策課	
179	公害医療手帳所持者に対する予防接種等費用助成	健康医療政策課	

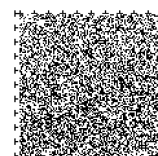


8 用語集

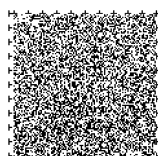
	用語	説明	初出頁
あ行	ウェルビーイング	身体的・精神的・社会的によい状態にあることで、短期的な幸福のみならず、将来にわたる持続的な幸福を含むもの。また、個人のみならず、地域、社会が持続的によい状態であることを含む包括的な概念。	10
か行	がん検診精度管理評価事業	区市町村が行うがん検診の実態を把握し、精度管理の評価を行うことにより、より精度の高い検診の実施に寄与することを目的としている。	165
	ゲートキーパー	自殺のリスクにつながるような悩みに気づき、声をかけ、話を聴き、必要な支援につなげ、見守る人のことで、特別な資格は不要。	95
	健康経営®	従業員等の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践することで、企業理念に基づき、従業員等への健康投資を行うことは、従業員の活力向上や生産性の向上等の組織の活性化をもたらし、結果的に業績向上や株価向上につながると期待されている。 ※健康経営®は、NPO法人健康経営研究会の登録商標。	108
	健康寿命	健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間のことで、平均寿命の伸びを上回る健康寿命の延伸、即ち、健康寿命と平均寿命との差を縮小することが重要とされている。	3
	健康増進法	平成15年5月1日から施行された法律で、「国民の健康の増進の総合的な推進に関し基本的な事項を定めるとともに、栄養の改善その他の国民の健康の増進を図るための措置を講じ、もって国民保健の向上を図る」ことを目的としている。	3



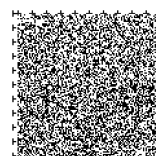
	用語	説明	初出頁
か行	合計特殊出生率	1人の女性（15歳から49歳）が一生の間に出産するこどもの平均人数。	16
	コーホート要因法	出生、死亡、移動等の人口の変動要因の動向を仮定して、出生年が同じ人口集団毎に将来人口を推計する方法。	15
さ行	死亡率	一定期間内に死亡した人の割合。	10
	受動喫煙	本人が喫煙しなくても、他人の喫煙により発生した副流煙（たばこの先端から立ち上る煙）や呼出煙（喫煙者が吐き出す煙）を吸い込んでしまうこと。	46
	循環器病	健康寿命の延伸等を図るための脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る対策に関する基本法（平成30年法律第105号）では、脳卒中、心臓病その他の循環器病を「循環器病」としている。循環器病には、虚血性脳卒中（脳梗塞）、出血性脳卒中（脳内出血、くも膜下出血等）、一過性脳虚血発作、虚血性心疾患（狭窄症、心筋梗塞等）、心不全、不整脈、弁膜症（大動脈弁狭窄症、僧帽弁逆流症等）、大動脈疾患（大動脈解離、大動脈瘤等）、末梢血管疾患、肺血栓塞栓症、肺高血圧症、心筋症、先天性心・脳血管疾患、遺伝性疾患等多くの疾患が含まれる。	58
	心疾患	心臓に何らかの障害が起き、それにより血液の循環不全によって引き起こされる病気の総称で、心筋梗塞、狭心症等を指す。	3
	身体活動	安静にしている状態よりも多くのエネルギーを消費するすべての動作のことで、運動と生活活動とに大きく分けることができる。	31
	セルフメディケーション	自分自身の健康に責任を持ち、軽度の身体の不調は自分で手当てすること。	124



	用語	説明	初出頁
た行	地域包括ケアシステム	可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される仕組みのこと。	92
	データヘルス計画	国民健康保険等の医療保険者が加入者の健康データを活用して、効率的な保健事業を実施するための取組で、国が推進する「日本再興戦略」の一環として、健康寿命の延伸と国民の健康保持増進を目的としており、平成27年度からすべての健康保険組合に策定・実施が義務付けされている。	4
	適正体重	生活習慣病等になりにくく、健康でいられるとされる体重のことで、BMIで評価され、その指標が22となる体重が、日本において最も病気にかかりにくいとされている。	3
	統合医療	近代西洋医学を前提として、これに相補（補完）・代替療法や伝統医学等を組み合わせるさらにQOL（Quality of Life：生活の質）を向上させる医療であり、医師主導で行うものであって、場合により多職種が協働して行うもの（厚生労働省の『統合医療』情報発信サイト）より。 近代西洋医学だけでなく、漢方、健康食品、各種の民間療法が広く利用されているという実態があり、新しい医療の概念として「統合医療」の考え方が注目されてきたもの。 統合医療には多種多様なものがあり、上記サイトでは、科学的根拠に基づいた情報を紹介している。	127
	特定健康診査	生活習慣病の予防のために、40歳から74歳を対象とする、メタボリックシンドロームに着目した健康診査。	34



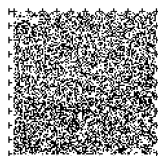
	用語	説明	初出頁
た行	特定保健指導	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクが高く、生活習慣の改善による生活習慣病の予防効果が多く期待できる人に対して、専門スタッフ（保健師、管理栄養士等）が生活習慣を見直すサポートのこと。	49
な行	年齢調整	年齢構成の異なる集団について比較ができるよう、年齢構成を調整すること。死亡率の場合は、死亡状況の比較ができるようにするもので、公衆衛生分野における評価や目標設定をする上での重要な指標。	59
	脳血管疾患	脳動脈に異常が起きることが原因でおこる病気の総称で、脳出血、クモ膜下出血、脳梗塞等を指す。	3
は行	8020	「ハチ・マル・ニイ・マル」と読み、「80歳になっても20本以上自分の歯を保とう」という働きかけを「8020運動」とし、20本以上の歯があれば、食生活にほぼ満足することができると言われる。	51
	フレイル	高齢期に見られる心身の活力の低下した「虚弱」な状態を指し、要介護状態の中間に位置する。「身体的」「精神的・心理的」「社会的」の3つの側面があり、これらが互いに影響しあって進行するも、健康な状態に戻る可能性も十分にあり、早い段階での予防と対策が重要とされる。	54



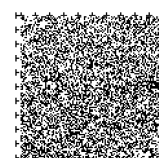
	用語	説明	初出頁
は行	プレコンセプションケア	若いうちから性や健康に関する正しい知識を身に付け、健康づくりを実践すること。	70
	平均寿命	0歳における平均余命のこと。	79
ら行	ライフコースアプローチ	胎児期から高齢期に至るまでの人の生涯を経時的に捉えた健康づくりのことをいう（健康日本21（第三次）より）。	10
	65歳健康寿命	65歳の人何らかの障害のために日常生活動作が制限されるまでの年齢を平均的に表したもの。	9
	65歳平均余命	65歳の人平均してあと何年生きられるかの期待値。	9

■アルファベット

用語	説明	初出頁
AIDS（エイズ）	Acquired Immunodeficiency Syndrome（後天性免疫不全症候群）の略で、HIV（ヒト免疫不全ウイルス）に感染して免疫力が低下し、決められた様々な疾患を発症した状態。	114
BMI	Body Mass Index（体格指数）の略で、肥満度を表す指標として国際的に用いられており、体重〈kg〉÷（身長〈m〉×身長〈m〉）で求める。	23
COPD	Chronic Obstructive Pulmonary Disease（慢性閉塞性肺疾患）の略で、肺の生活習慣病とも言われ、肺気腫や慢性気管支炎も合わせた、慢性閉塞性肺疾患という病気のこと。気管支が炎症を起こしたり肺胞が破壊されて肺機能が低下し、悪化するとせき・たん・息切れが強くなり生活に支障をきたす。	46

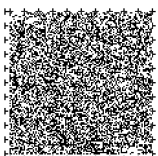


用語	説明	初出頁
DX (デジタル・トランスフォーメーション)	デジタル技術の浸透により、人々の生活があらゆる面でよりよいものに変化していくこと。デジタル・トランスフォーメーション (Digital Transformation) の略。	10
HACCP (ハサップ)	原材料の納入から最終製品の仕上がりまでをあらかじめ定めた管理計画に基づいて一貫して製造工程を管理するもので、国際機関のCODEX委員会がガイドラインが示されている世界で認められた衛生管理手法。	127
ICT	Information and Communication Technology (情報通信技術) の略。情報技術に通信技術を加えたもので、通信を介して人やモノ、情報と情報が相互にやりとりする技術全般を意味する。生活やビジネス、教育等幅広い分野において、テレワーク、オンライン会議、クラウドサービス等がその活用例。	10
KDB	国保データベースシステム。	21
sucoyaca	KDBシステムを補完する外付システム。データを活用した統計分析をサポートするシステム。	21



9 ライフステージ別区民の取組例

区分	施策	乳幼児期 (6歳以下)
① 生活習慣の改善	1 栄養・食生活 【大田区食育推進計画】	◆規則正しい食習慣を身に付ける ◆家族や友人などと一緒に食事を楽しむ時間をもつ
	2 身体活動・運動	◆遊びを通して、身体を動かす楽しさを知る
	3 休養・睡眠	◆早寝早起きの習慣をつける
	4 飲酒・喫煙	◆保護者などは、こどもに受動喫煙させないよう配慮する
	5 歯と口腔の健康	◆よく噛んで食べる ◆保護者が仕上げ磨きをする ◆定期的に歯科健診を受ける
② 主な生活習慣病の 発症予防と重症化 予防	1 がん	
	2 糖尿病・循環器病	◆健康的な生活習慣を身に付ける
③ ライフコースアップ ローチを踏まえた 健康づくり	1 こどもの健康	◆保護者は健康的な生活習慣について理解し、こどもに実践 ◆健康的な生活習慣を実践する
	2 高齢者の健康	
	3 女性の健康	◆乳幼児健康診査等で健康に関する正しい情報を身に付ける（保護者）
④ 親と子の 健康づくり 【大田区母子保健 計画】		◆定期的に健診、予防接種を受ける ◆親子で過ごす時間を大切にする（保護者） ◆保護者がともに協力し、主体的に育児に取り組む ◆相談先や支援内容を知り、一人で悩みを抱えない
⑤ こころの健康づく りと自殺対策の 推進	1 こころの健康づくり	
	2 自殺対策の推進 【大田区自殺対策計画】	



学童・思春期 (7歳から19歳)	青年期・壮年期 (20歳から64歳)	高齢期 (65歳以上)
◆1日3食、主菜・副菜をそろえてバランスの良い食事をとる		
◆適正体重を維持する		◆フレイルを予防する
◆食材を「買い過ぎず」「使い切る」「食べ切る」		
◆普段から体を動かすことを意識し、運動習慣を身に付ける	◆日常生活の中で意識的に歩く	◆運動や社会参加で、筋力や体力を維持する
	◆睡眠の大切さと、質の良い睡眠のとり方を理解し実践する	
◆趣味の活動等を通じて、余暇時間を充実させる		
◆喫煙・受動喫煙や飲酒による健康への影響を理解する	◆COPDについて正しく理解し、自覚症状がある場合は、早期に医療機関を受診する	
	◆生活習慣病のリスクを高める量の飲酒をしない	
	◆食後に必ず歯を磨くとともに、正しいセルフケアを実践する	◆オーラルフレイルを予防する
	◆かかりつけ歯科医を決め、定期的に歯科健診や予防処置を受ける	
◆がんに関する正しい知識とがんを予防する生活習慣を身に付ける	◆定期的ながん検診を受診し、必要に応じて医療機関を受診する	
◆健康的な生活習慣に関する理解を深め、習慣化する	◆定期的に健診を受診し、必要に応じて医療機関を受診する	
を促す		
	◆運動機能・認知機能を維持するための健康づくりに取り組む	◆定期的に健診を受診する
		◆フレイルを予防する
◆女性の健康に関する正しい知識を身に付ける	◆定期的に健診・検診を受診し、必要に応じて医療機関を受診する	
	◆妊娠・出産に関する正しい知識を身に付ける	
◆自分に合ったストレス解消方法を身に付ける	◆精神疾患を正しく理解する	
	◆こころの不調を感じた時に一人で抱え込まず、家族や友人、相談機関にためらわずに相談する	
◆困難に直面した際のSOSの出し方を学ぶ	◆悩んでいる人を支えたいと考えている人は、ゲートキーパー養成講座を受講する	

